



Home Projector

EH-LS12000B

マニュアル中の表示の意味

マニュアルの使い方と情報の探し方	7
キーワードで検索する	. 7
しおりから直接ジャンプする	. 7
必要なページだけ印刷する	. 7
ドキュメント類の最新バージョンを入手する	8

プロジェクターを使用する前に

プロジェクターの各部名称と働き	10
プロジェクターの各部名称 - 前面/上面	10
プロジェクターの各部名称 - 背面	11
プロジェクターの各部名称 - 底面	11
プロジェクターの各部名称 - インターフェイス	12
プロジェクターの各部名称 - 操作パネル	13
プロジェクターの各部名称 - リモコン	13

プロジェクターを準備する

1	6
	0

プロジェクターの設置	17
輸送に関するご注意	
プロジェクターの設置・取り付け	
投写距離	
セーフティーワイヤーを取り付ける	20
天吊り金具ELPMB22をお使いのとき	20
天吊り金具ELPMB30をお使いのとき	21
プロジェクターを接続する	23
HDMIケーブルでビデオ機器と接続する	23
HDMIケーブルでコンピューターと接続する	
メディアストリーミング端末を接続する	
外部機器を接続する	25
外部機器を接続9 る	

eARC/ARC対応AVアンプやスピーカーを接続する	25
Trigger Out端子への接続	26
有線LANに接続する	27
有線LANに接続する	27
有線LANを設定する	27
ケーブルカバーを取り付ける	29
リモコンに電池を取り付ける	
リモコンを操作する	32

プロジェクターの基本機能を使用する 33

プロジェクターの電源を入れる	34
プロジェクターの電源を切る	36
テストパターンを表示する	37
設置モードを選択する	38
メニューから設置モードを変更する	38
映像の位置を調整する(レンズシフト)	40
プロジェクターの傾きを調整する	41
映像の形状を補正する	42
タテヨコ台形補正で映像のゆがみを補正する	42
Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する	43
ポイント補正で映像のゆがみを補正する	45
映像の大きさを調整する	48
映像のピントを調整する	49
投写映像を切り替える	50
映像のアスペクト比を設定する	51
映像のアスペクト比を切り替える	51
アスペクトモードの種類	51
カラーモードを設定する	53

カラーモードを変更する	. 53
カラーモードの種類	. 53
映像の画質を調整する	55
シャープネスを調整する	. 55
フレーム補間を設定する	. 56
光源の明るさを設定する	. 57
映像の光量を調整する	. 57
映像の解像感を調整する(イメージ強調)	. 58
映像の色合いを調整する	60
色温度を調整する	. 60
RGBを調整する(オフセット・ゲイン)	. 61
ガンマを調整する	. 62
色相、彩度、明度を調整する	. 63

プロジェクターの便利な機能

HDMIリンク機能	66
HDMIリンク機能を使って接続機器を操作する	66
映像を一時的に停止する	68
プロジェクターの設定をメモリーに保存する	59
映像の詳細設定を行う	71
色味を調整する(ユニフォーミティー)	71
セキュリティー機能	73
プロジェクターのレンズとボタンをロックする	73
ボタンロックを解除する	74
セキュリティーケーブルを取り付ける	74

プロジェクター	・を監視および制御する	75

PJLinkについて	6
------------	---

メニューの操作	77
プロジェクターメニューを操作する	
ソフトキーボードを操作する	
ソフトキーボードで入力可能な文字	80
映像調整メニュー	
信号入出力メニュー	
設置メニュー	
表示メニュー	
動作メニュー	
管理メニュー	
ネットワークメニュー	
ネットワーク設定メニュー	
ネットワーク設定 - 有線LANメニュー	
ネットワーク設定 - プロジェクター制御メニュー	
メモリーメニュー	
初期・全体設定メニュー	
メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする(一括	設定機
能)	
USBメモリーを使って一括設定する	
コンピューターを使って一括設定する	
一括設定でエラーが発生したときは	
プロジェクターをメンテナンスする	100

プロジェクターのメンテナンス	101
レンズを清掃する	102
本機を清掃する	103
エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする	104

エアフィルターと吸気口を清掃する	
エアフィルターを交換する	106
液晶パネルの色ずれを補正する(液晶アライメント)	109
ファームウェアを更新する	111
USBストレージを使ってファームウェアを更新する	111
コンピューターとUSBケーブルを使ってファームウェアを更新	所する112

困ったときに

115

トラブルの対処方法	116
インジケーターの見方	117
ステータス表示を確認する	119
ステータスに表示されるメッセージ	119
電源に関するトラブル	122
電源が入らない	122
予期せず電源が切れる	122
映像に関するトラブル	123
映像が表示されない	123
映像がゆがむ	
映像がぼやける	124
映像の一部が表示されない	124
映像にノイズが入る、乱れる	125
映像の明るさや色合いが違う	125
映像が上下反転して表示される	126
映像と音声がずれる	126
音声に関するトラブル	127
リモコン操作に関するトラブル	128
HDMIリンクに関するトラブル	129

付録

オプション・消耗品一覧	131
設置用金具	
外付けオプション	
消耗品	
スクリーンサイズと投写距離	132
对応解像度	134
本機仕様	135
接続端子	
外形寸法図	137
安全規格対応シンボルマークと説明	138
レーザー製品を安全にお使いいただくために	140
レーザー警告ラベル	
用語解説	142
一般のご注意	143
使用限定について	
本機を日本国外へ持ち出す場合の注意	
瞬低(瞬時電圧低下)基準について	
JIS C 61000-3-2適合品	
表記について	
商標について	
ご注意	
著作権について	

130

マニュアル中の表示の意味

安全に関する表示

本製品および取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくために絵表示が使われています。

人体への危害や財産への損害を防ぐために、次の絵表示で表記された説明は、内容をよくお読みいただいた上で、説明に従ってお取り扱いください。

▲ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
▲ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容 を示しています。

一般情報に関する表示

	注意して取り扱わないと、本製品の故障や損傷の原因となるおそれがある内容を記載しています。
注意	
	知っておくと便利な関連情報を記載しています。
【ボタン名】	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。
	例:【Esc】ボタン
[メニュー/設定名]	プロジェクターのメニューや設定の名称を示しています。
	例:
	[映像調整]メニューを選択する
	☞ [映像調整] > [カラーモード]
••	関連事項を記載しているページを示しています。
(プロジェクターのメニューの階層を示しています。

▶ 関連項目

・「マニュアルの使い方と情報の探し方」 p.7

・「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 p.8

マニュアルの使い方と情報の探し方

PDFマニュアルでは、探したい情報のキーワードから該当箇所を検索 したり、しおりから直接ジャンプしたりすることができます。また、 必要なページだけ印刷することもできます。ここでは、PDFマニュア ルをコンピューターのAdobe Reader Xで開いた場合の使い方を説明し ます。

▶ 関連項目

- ・「キーワードで検索する」 p.7
- ・「しおりから直接ジャンプする」 p.7
- •「必要なページだけ印刷する」 p.7

キーワードで検索する

[編集]メニューの[高度な検索]をクリックします。検索ボックス に探したい情報のキーワード(語句)を入力して、[検索]をクリッ クします。キーワードの該当箇所が一覧で表示されます。表示された 文字列をクリックすると、該当ページにジャンプします。



しおりから直接ジャンプする

タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。 [+] または [>] をクリックすると下の階層のタイトルが表示されます。ジャンプ 前のページに戻りたいときは、キーボードで以下の操作をします。 Windows: [Alt] キーを押したまま [←] キーを押します。
Mac OS: commandキーを押したまま [←] キーを押します。



必要なページだけ印刷する

紙で読みたいページだけを抜き出して印刷できます。 [ファイル] メ ニューの [印刷] をクリックして、 [印刷するページ] の [ページ指 定] で印刷したいページを指定します。

 連続したページの指定は、開始ページと終了ページの間にハイフン を入れます。

例:20-25

・連続していない複数ページの指定は、ページをカンマで区切りま す。

例:5,10,15

						>
フリンターの		14	70/7710	詳細設定 回		ALTIN ()
			ロインタノトナー	ル(自黒)で印刷() -を節約 ()		
印刷するページ 〇才べて出				注釈と	フォーム(M) と注釈	×
●ページ播車画	20-25)	(日平)	97%	
ページサイズ処理(D				209.97 x 296.93 3	u
UTTO	#29-	複数	小冊子		CPSQN	

説明書や仕様書の最新バージョンは、EPSONのWebサイトからダウン ロードできます。

dreamio.jp/doc/にアクセスし、機種名を入れてください。

プロジェクターを使用する前に

本機の各部名称について説明します。

▶ 関連項目

・「プロジェクターの各部名称と働き」 p.10

本機の各部名称とその働きについて説明します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターの各部名称 前面/上面」 p.10
- ・「プロジェクターの各部名称 背面」 p.11
- ・「プロジェクターの各部名称 底面」 p.11
- ・「プロジェクターの各部名称 インターフェイス」 p.12
- ・「プロジェクターの各部名称 操作パネル」 p.13
- ・「プロジェクターの各部名称 リモコン」 p.13

プロジェクターの各部名称 - 前面/上面



名称	Π	働き
0	排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。
		▲ 注意
		投写中は手や顔を排気口に近づけたり、熱 による悪影響を受けるものを排気口の近く に置かないでください。排気口から温風が 出るため、やけどや変形、事故の原因とな ります。
2	投写レンズ	ここから映像を投写します。
3	レンズシャッター	本機の電源オン/オフに連動して自動的に開閉しま す。
4	リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
5	フロントフット	机上に設置したときに、フットを伸縮させて映像 の左右の傾きを調整します。
6	【Source】ボタン	入力ソースを切り替えます。
7	電源ボタン/インジ ケーター (本機の電源をオン/オフします。 本機に電源が供給されているときに点灯します。
8	ケーブルカバー	ケーブルを接続した背面の接続端子部のカバーで す。
9	吸気口(エアフィル ター)	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。
0	エアフィルターカ バー	エアフィルターの清掃・交換時に開閉します。
0	インジケーター	本機の状態を表示します。
12	吸気口	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。

▶ 関連項目

・「エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする」 p.104

プロジェクターの各部名称と働き

- ・「インジケーターの見方」 p.117
- ・「リモコンを操作する」 p.32
- ・「ケーブルカバーを取り付ける」 p.29

プロジェクターの各部名称 - 背面



名称	Γ	機能
0	操作パネル	本機の操作をします。
2	インターフェイス	外部機器を接続します。
3	電源端子	電源コードを接続します。
4	ケーブルホルダー	ケーブル類を固定するための市販の結束バンド (ケーブルタイ)を通します。
5	セキュリティース ロット	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリ ティーシステムに対応したセキュリティースロッ トです。
6	リモコン受光部	リモコン信号を受信します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターの各部名称 インターフェイス」 p.12
- ・「セキュリティーケーブルを取り付ける」 p.74

プロジェクターの各部名称 - 底面



名秒	Π	働き
0	フロントフット	机上に設置したときに、フットを伸縮させて映像 の左右の傾きを調整します。

プロジェクターの各部名称と働き

名称	Л	働き
2	天吊り金具固定部 (4箇所)	本機を天井から吊り下げるときは、オプションの 天吊り金具をここに取り付けます。
3	ワイヤークランプ固 定部	オプションの天吊り金具を取り付けるときは、落 下防止のため、カラビナをここに取り付けてセー フティーワイヤーを通します。
4	リアフット	机上に設置したときに、本体を支えます。
5	ネジ穴(ケーブルカ バー用)	ケーブルカバーを固定するためのネジ穴です。
6	エアフィルターカ バー固定ネジ	エアフィルターカバーを固定するネジです。

▶ 関連項目

- ・「セーフティーワイヤーを取り付ける」 p.20
- ・「プロジェクターの傾きを調整する」 p.41

プロジェクターの各部名称 - インターフェイス



名称	Π	機能
0	USB-A (5V <i>=</i> ==2.0A) 端 子	メディアストリーミング端末に電力を供給しま す。
		USBメモリーを接続して、エラーログや操作ログ を保存します。
		ー括設定機能でメニュー設定をコピーするとき や、ファームウェアを更新するときに使います。
		以降はUSB-A端子と記載します。
2	Service端子	ー括設定機能でメニュー設定をコピーするとき や、ファームウェアを更新するときに使います。
3	Trigger Out端子	電動スクリーンなどの外部機器に接続します。
4	LAN端子	LANケーブルを接続して、ネットワークに接続し ます。
6	Opt.HDMI (300mA)端 子	光HDMIケーブルの給電端子を接続します。すべて の機器の接続を保証するものではありません。お 使いの機器で動作をご確認のうえ、使用してくだ さい。
6	HDMI1端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターの信 号を入力します。
		この端子はHDCP 2.3に対応しています。
7	HDMI2 (eARC/ARC)端 子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターの信 号を入力します。
		この端子はHDCP 2.3に対応しています。 この端子はHDMI eARC/ARCに対応しています。
8	RS-232C端子	RS-232Cケーブルを接続して、コンピューターから 本機を制御します。(通常はこの端子を使用する 必要はありません。)

▶ 関連項目

・「プロジェクターを接続する」 p.23

プロジェクターの各部名称 - 操作パネル



名称	ī	機能
0	【Menu】ボタン (至)	メニュー画面を表示/終了します。
2	【Lens】ボタン	映像のサイズ、ピント、投写位置を調整します。
3	上下左右ボタン	メニューやヘルプの表示中に押すと、メニュー項 目を選択します。 直前に使用した [幾何学歪み補正]の調整画面を 表示します。
4	【Enter】ボタン (↩)	メニューやヘルプの表示中に押すと、選択項目を 決定して、次の階層に進みます。
5	【Esc】ボタン (℃)	実行中の機能を終了します。 メニューの表示中に押すと、前のメニュー階層に 戻ります。

- ▶ 関連項目
- 「映像の大きさを調整する」 p.48

- ・「映像のピントを調整する」 p.49
- ・「メニューの操作」 p.77

プロジェクターの各部名称 - リモコン



プロジェクターの各部名称と働き

名称		働き
0	【On】ボタン	本機の電源を入れます。
2	【Standby】ボタン	本機の電源を切ります。
3	【HDMI1】、 【HDMI2】ボタン	HDMI1端子とHDMI2 (eARC/ARC)端子からの映像に 切り替えます。
4	【Information】ボタ ン	[情報表示]画面を表示します。
5	【Light Output】ボ タン	[レーザーライト出力]画面を表示します。
6	再生操作ボタン	HDMI CEC規格対応の機器を操作します。
7	【HDMI Link】ボタ ン	[HDMIリンク]画面を表示します。
8	【Lens】ボタン	映像のサイズ、ピント、投写位置を調整します。
9	【Color Mode】ボタ ン	[カラーモード]画面を表示します。
0	上下左右ボタン	メニューの表示中に押すと、メニュー項目を選択 します。
0	【Enter】ボタン	メニューの表示中に押すと、選択項目を決定し て、次の階層に進みます。
(2)	【Default】ボタン	選択した設定を初期値に戻します。
B	【Menu】ボタン	メニュー画面を表示/終了します。
14	【Memory】ボタン	[メモリー]メニューを表示します。
15	【Frame Int】ボタン	[フレーム補間]の強度を設定をします。
6	【RGBCMY】ボタン	RGBCMYの各色に対して色相、彩度、明度を調整 します。
	【HDR】ボタン	[ダイナミックレンジ]調整画面を表示します。
1	[Pattern]	[テストパターン] 画面を表示します。

名称		働き	
19	【Lens1】、 【Lens2】ボタン	[レンズポジション]設定で[メモリー1]、 [メモリー2]に保存されたレンズポジションを 呼び出します。	
20	【Esc】ボタン	実行中の機能を終了します。 メニューの表示中に押すと、前のメニュー階層に 戻ります。	
2)	【Image Enh】ボタ ン	[イメージ強調]画面を表示します。	
22	【Fine/Fast】ボタン	[映像処理]画面を表示します。	
23	【Aspect】ボタン	[アスペクト]画面を表示します。	
24	【Blank】ボタン	映像を一時的に遮断します。再開するときは、再 度このボタンを押します。	
25	イルミネーションボ タン	このボタンを押すと、リモコン上のボタンが約10 秒間光ります。暗がりでリモコンを操作するとき に便利です。	
26	リモコン発光部	リモコン信号を出力します。	

▶ 関連項目

- ・「カラーモードを設定する」 p.53
- ・「映像のアスペクト比を設定する」 p.51
- ・「HDMIリンク機能」 p.66
- 「投写映像を切り替える」 p.50
- 「映像の大きさを調整する」 p.48
- ・「映像のピントを調整する」 p.49
- ・「映像を一時的に停止する」 p.68
- ・「テストパターンを表示する」 p.37
- ・「フレーム補間を設定する」 p.56
- 「光源の明るさを設定する」 p.57
- ・「映像の解像感を調整する(イメージ強調)」 p.58
- ・「色相、彩度、明度を調整する」 p.63

プロジェクターの各部名称と働き

- ・「プロジェクターの設定をメモリーに保存する」 p.69
- ・「メニューの操作」 p.77

プロジェクターを準備する

プロジェクターの準備方法を説明します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターの設置」 p.17
- ・「セーフティーワイヤーを取り付ける」 p.20
- ・「プロジェクターを接続する」 p.23
- ・「有線LANに接続する」 p.27
- ・「ケーブルカバーを取り付ける」 p.29
- ・「リモコンに電池を取り付ける」 p.31

平らな場所にプロジェクターを置いて映像を投写します。

位置を固定して使用する場合は、天井にプロジェクターを取り付ける こともできます。天井からプロジェクターを吊り下げるときは、オプ ションの天吊り金具が必要です。

プロジェクターの設置位置を決めるときは、以下の点に注意してくだ さい。

 ・プロジェクターは水平で安定した場所に置くか、本製品に対応した 金具を使用して取り付けます。



- ・通気のためにプロジェクターの周囲に十分なスペースを確保します。通気の妨げになるものをプロジェクター上面や周囲に置かないでください。
- ・投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。



▲ 警告

- ・天井からプロジェクターを吊り下げるときは、天吊り金具の取り付けが 必要となります。プロジェクターを正しく設置しないと、落下により破 損やけがの原因となることがあります。
- ・プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・ 油などを使用しないでください。プロジェクターにそれらの溶剤が付着 すると、プロジェクターのケースが割れ、天吊り金具からプロジェク ターが落下するおそれがあります。
- 天吊り金具とプロジェクターの取り付け不備は、プロジェクターの落下 事故につながるおそれがあります。本機に対応したエプソン指定の金具 を使用し、プロジェクターの天吊り固定部すべてに確実に固定してくだ さい。また、十分強度のあるワイヤーなどを使ってプロジェクターと金 具を固定してください。
- ・湿気やホコリの多い場所や、油煙や湯気が当たる場所(調理場所、ご家庭のキッチン、加湿器の近くなど)にプロジェクターを設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、油によりプロジェクターの外装ケースが劣化し、天吊り設置したプロジェクターが落下するおそれがあります。

外装ケースの劣化・破損によりプロジェクターの落下が想定される環境 例

- ・油煙が多い場所(工場、調理場所、ご家庭のキッチンなど)
- ・溶剤、薬品が揮発している空間(工場、実験室など)
- ・油、洗剤、薬品などが付着する場所(工場、調理場所、ご家庭のキッ チンなど)
- アロマオイルを頻繁に焚く場所(リラクゼーションルームなど)
- ・イベント演出などのスモーク(油成分以外も含む)や、泡が多い場所 (イベント演出装置の周辺など)

⚠ 警告

- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさ ぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ホコリや塵の多い場所で使用・保管はしないでください。投写映像の品 質が劣化したり、エアフィルターや投写レンズにホコリが詰まって、故 障や火災につながることがあります。
- 不安定な場所や荷重範囲を超える場所には設置しないでください。落下 や転倒によりけがや事故の原因となります。
- 高い場所に設置するときは、地震などの非常時の安全確保と事故防止のため、ワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。正しく設置しないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- ・塩害が発生する場所や、温泉の硫黄ガスなどの腐食性ガスが発生する場所には設置しないでください。腐食による落下の原因となることがあります。また、本機の故障の原因となることがあります。

注意

- 本機を標高1,500 m以上の場所で使用するときは、[設置]メニューの [高地モード]を[オン]にして、本機の内部温度が適切に調節される ようにしてください。
- ・湿気やホコリの多い場所、たばこなどの煙が当たる場所への設置は、できるだけ避けてください。

▶ 関連項目

- 「輸送に関するご注意」 p.18
- ・「プロジェクターの設置・取り付け」 p.18
- ・「投写距離」 p.19

輸送に関するご注意

本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。輸送の 際には、衝撃による故障防止のため、次のように取り扱ってくださ い。

- ・接続している機器はすべて取り外します。
- ・【Lens】ボタンでレンズ位置を中心に戻します。レンズが中心位置 にない状態で輸送すると、レンズシフトの機構が破損するおそれが あります。
- ・レンズシャッターが閉まっていることを確認します。
- 長距離を輸送するときや、運送業者に依頼されるときは、本機を緩 衝材で保護し、頑丈な箱に入れて、精密機器であることを表記して ください。
- 修理のため本機を輸送するときは、ご購入時の箱に入れるか、本機 を緩衝材で保護してください。精密機器であることを表記してくだ さい。



輸送中に発生したトラブルについては責任を負いかねますの で、ご了承ください。

プロジェクターの設置・取り付け

本機は以下の方法で設置・取り付けできます。

プロジェクターの設置

フロント/リア



フロント・天吊り/リア・天吊り



設置する場所や方法に合わせて、 [設置] メニューで [設置モード] を選択します。必要に応じて、 [動作] メニューの [方向ボタン反 転] をオンにします。

▶ 関連項目

・「設置モードを選択する」 p.38

投写距離

本機からスクリーンまでの距離に応じて、映像の大きさが決まりま す。本機をスクリーンから遠ざけるほど、投写される映像は大きくな ります。 スクリーンサイズと投写距離を参考にして、本機からスクリーンまで のおおよその距離を決めてください。



- ▶ 関連項目
- ・「スクリーンサイズと投写距離」 p.132

セーフティーワイヤーを取り付ける

本機を天吊り設置するときは、落下防止用のセーフティーワイヤーを 取り付けます。

\Lambda 警告

セーフティーワイヤーは、必ずエプソン純正の天吊り金具に同梱されてい るものをご使用ください。セーフティーワイヤーは、別途セーフティーワ イヤーセット ELPWR01としてもお買い求めいただけます。

▶ 関連項目

- •「天吊り金具ELPMB22をお使いのとき」 p.20
- ・「天吊り金具ELPMB30をお使いのとき」 p.21

天吊り金具ELPMB22をお使いのとき

以下の手順でセーフティーワイヤーを取り付けます。

事前に天吊り金具(ELPMB22)が確実に本機に取り付けられていること、また、セーフティーワイヤーセットの以下の同梱品がそろっていることを確認してください。

- ・セーフティーワイヤ-×1
- ・カラビナ×2

- ・ワイヤークランプ×1
- ・取付用ネジ(M4×10mm)×1

天吊り金具ELPMB22について詳しくは、『天吊り金具 ELPMB22/ELPMB23 取扱説明書』をご覧ください。 1 天吊り金具にカラビナを通して、カラビナを締めます。



2 もう一つのカラビナにワイヤークランプを取り付け、ワイヤーク ランプをプロジェクターのワイヤークランプ固定部に取付用ネジ で固定します。



セーフティーワイヤーを取り付ける

3 セーフティーワイヤーを天吊り金具側のカラビナに通して、両端 をプロジェクター側のカラビナに取り付けます。



1. カラビナを締めます。



▶ 関連項目

・「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 p.8

天吊り金具ELPMB30をお使いのとき

以下の手順でセーフティーワイヤーを取り付けます。

事前に天吊り金具(ELPMB30)のプロジェクター取付金具が確実に本 機に取り付けられていること、また、セーフティーワイヤーセットの 以下の同梱品がそろっていることを確認してください。

- ・セーフティーワイヤー×1
- ・カラビナ×2(ELPMB30で使用するカラビナは1つです。)
- ・ワイヤークランプ×1
- ・取付用ネジ(M4×10mm)×1



天吊り金具ELPMB30について詳しくは、『ELPMB30取扱説明書』 をご覧ください。



カラビナにワイヤークランプを取り付け、ワイヤークランプをプロジェクターのワイヤークランプ固定部に取付用ネジで固定します。



セーフティーワイヤーを取り付ける



2 セーフティーワイヤーを天吊り金具に通して、両端をカラビナに取り付けます。









▶ 関連項目

・「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 p.8

プロジェクターを接続する

プロジェクターと映像機器の接続方法を説明します。

注意

接続する前に、使用するケーブルのコネクターの形状と向きを確認してく ださい。形状が合わないコネクターを無理に端子に押し込まないでくださ い。お使いの機器、プロジェクターの破損や故障の原因となります。

本機に同梱されているケーブルは『かんたん操作ガイド』で確認できます。同梱されていないケーブルは、オプション品または市販品をお買い求めください。

▶ 関連項目

- ・「HDMIケーブルでビデオ機器と接続する」 p.23
- ・「HDMIケーブルでコンピューターと接続する」 p.24
- ・「メディアストリーミング端末を接続する」 p.24
- ・「外部機器を接続する」 p.25
- ・「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 p.8

HDMIケーブルでビデオ機器と接続する

HDMI端子を搭載したビデオ機器を使用しているときは、HDMIケーブ ルでプロジェクターとビデオ機器を接続できます。

注意

あらかじめビデオ機器の電源を切ってください。ビデオ機器の電源が入った状態で接続すると、故障の原因となります。

 ・接続する機器の端子が特有の形状をしているときは、その機器 に同梱またはオプションのケーブルで接続してください。

 $\langle \rangle$

- ・使用するケーブルは、接続するビデオ機器の出力信号によって 異なります。
- ビデオ機器によっては、数種類の信号を出力できます。出力で きる信号の種類は、お使いのビデオ機器に同梱の取扱説明書で 確認してください。
- 4K 120Hzなどの40 Gbps伝送帯域の信号を投写するときは、ウルトラハイスピードのHDMIケーブルをお使いください。適合していないケーブルを使用すると、正しく表示できないことがあります。映像が正しく表示されないときは、[信号入出力]メニューの[EDIDモード]の設定を変更してください。

● [信号入出力] > [EDID] > [EDID (HDMI1)] > [EDID モード]

- [信号入出力] > [EDID] > [EDID (HDMI2)] > [EDID モード]
- ビデオ機器のHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。

2 ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI端子のどちらかに接続します。

USB給電ケーブル付きの光HDMIケーブルをお使いのときは、給電 ケーブルをOpt.HDMI (300mA)端子に接続してください。



USB給電ケーブル付きの光HDMIケーブルをお使いのときは、給電 ケーブルをOpt.HDMI (300mA)端子に接続してください。



HDMIケーブルでコンピューターと接続する

HDMI端子を搭載したコンピューターを使用しているときは、HDMI ケーブルでプロジェクターとコンピューターを接続できます。

- 1 コンピューターのHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。
- 2 ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI端子のどちらか に接続します。

メディアストリーミング端末を接続する

メディアストリーミング端末を本機のHDMI端子に接続します。USB 給電ケーブルを接続すると、プロジェクターからメディアストリーミ ング端末に電力を供給できます。

メディアストリーミング端末の接続方法や動作条件はお使いの 機器によって異なります。詳しくは機器の取扱説明書をご覧く ださい。取扱説明書に従わないと、正常に動作しないことがあ ります。

プロジェクターを接続する



メディアストリーミング端末をHDMI端子に接続します。





給電ケーブルを本機のUSB-A端子に接続します。

- 3
- 給電ケーブルのもう一方のコネクターをメディアストリーミング 端末に接続します。



外部機器を接続する

プロジェクターに外部出力機器を接続します。

- ▶ 関連項目
- ・「eARC/ARC対応AVアンプやスピーカーを接続する」 p.25
- ・「Trigger Out端子への接続」 p.26

eARC/ARC対応AVアンプやスピーカーを接続する

HDMI端子を搭載したAVアンプやサウンドバーなどの外部スピーカーを 使用しているときは、イーサネット対応のHDMIケーブルを使って、こ れらの機器に音声を出力できます。



- ☞ [信号入出力] > [HDMIリンク] > [HDMIリンク]
- eARC/ARCの対応音声形式について詳しくは、『Supplemental A/V Support Specification』をご覧ください。

1 AVアンプやスピーカーのHDMI出力端子(eARC/ARC対応)に HDMIケーブルを接続します。

2 ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI2 (eARC/ARC)端子 に接続します。





必要に応じてAVアンプやスピーカーの設定をしてください。詳 しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

▶ 関連項目

・「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 p.8

Trigger Out端子への接続

トリガー信号に対応した電動スクリーンなどの外部機器に接続することができます。外部機器に本機の電源の状態(オン/オフ)などを伝えるため、電源が入っている間、この端子から12Vの信号(最大200mA)が出力されます。



ステレオミニプラグオーディオケーブルを外部機器のTrigger端子 に接続します。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

2 ケーブルのもう一方のコネクターを本機のTrigger Out端子に接続します。





[動作] メニューの [トリガーアウト] を設定します。

有線LANに接続する

ネットワーク経由でプロジェクターを監視、制御することができま す。

ネットワーク機能を使用するには、プロジェクターをネットワークに 接続し、プロジェクターおよびコンピューターのネットワーク設定を します。

- ▶ 関連項目
- 「有線LANに接続する」 p.27
- ・「有線LANを設定する」 p.27

有線LANに接続する

プロジェクターを有線LANに接続するには、100Base-TXまたは10Base-Tネットワークケーブルを使用します。誤作動防止のために、カテゴ リー5以上のシールド付きケーブルをお使いください。

- LANケーブルをネットワークハブ、スイッチ、またはルーターに 接続します。
- 2 ケーブルのもう一方のコネクターをプロジェクターのLAN端子に 接続します。



有線LANを設定する

ネットワークでコンピューターを使用するには、事前にプロジェク ターのネットワーク設定が必要です。



設定の前に、LAN端子にLANケーブルを接続し、プロジェクター を有線LANに接続してください。



【Menu】ボタンを押し、[ネットワーク]を選択して、 【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	ユニフォーミティー		
映像調整	ログ保存先	USBおよび内部メモリー	
信号入出力	一括設定範囲		
設置	言語 🌐	日本語	
表示	情報表示		
動作	ステータス表示		
901 P	管理初期化		
11111111111111111111111111111111111111	ネットワーク		
ネットワーク	有線LAN情報		
メモリー	ネットワーク設定		
初期・全体設定	ネットワーク初期化		
	メモリー		
	画質		
	レンズボジション		
	メモリー初期化		
	初期・全体設定		
	全初期化		
	ファームウェア更新		



[ネットワーク設定]を選択し、【Enter】ボタンを押します。

[プロジェクター名] にネットワーク上で本機を識別するための
 名前を入力します。半角英数字で16文字以内で入力します。



[有線LAN]を選択し、【Enter】ボタンを押します。

[有線LAN]		戻る
IP設定		
IPアドレス表示	オン	



5 必要に応じてネットワークのIPアドレスを割り当てます。

- DHCPを使用できるネットワークの場合は、
 [IP設定]を選択 し、 [DHCP] を [オン] にします。
- ・ DHCPを使用できないネットワークの場合は、 [IP設定]を選 択し、 [DHCP] を [オフ] にして、プロジェクターの「IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレ ス】を入力します。
- 6 設定したIPアドレスがネットワーク情報画面に表示されないよう にするには、 [IPアドレス表示]を [オフ] に設定します。
- 7 設定が終わったら、 [ネットワーク設定]の画面に戻り、 [設 定〕を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニュー を終了します。

▶ 関連項目

・「ネットワーク設定メニュー」 p.93

ケーブルカバーを取り付ける

同梱のケーブルカバーを装着して、ケーブル類を目立たなくすること ができます。







3 ケーブルカバーの切り込みにケーブルを通して、ケーブルカバー をプロジェクターに取り付けます。





ケーブルカバーのネジが本機のネジ穴に合うよう、本機よ り少し上から移動させてケーブルカバーを取り付けます。

⚠ 注意

電源コードとその他の接続ケーブルを束ねないでください。火災の 原因となります。

ケーブルカバーを取り付ける



4 ケーブルカバーのネジを締めます。



ケーブルカバーを外すときは、ネジをゆるめます。

リモコンに電池を取り付ける

本機に付属の単3形電池2個をリモコンに取り付けます。





電池がなくなったら電池を交換してください。リモコンには、 単3マンガン電池またはアルカリ電池2個を使用します。



電池カバーを外します。





古い電池が入っていれば取り外します。



使用済みの電池は、地域の廃棄ルールに従って廃棄してく ださい。 電池の+と-の向きを確認してリモコンにセットします。



⚠ 警告

電池ホルダー内の表示を確認して、(+)(-)を正しく入れてく ださい。電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火 災・けが・製品腐食の原因となることがあります。



電池カバーを閉め、カチッと音がするまで押し込みます。



▶ 関連項目

・「リモコンを操作する」 p.32

リモコンを操作する

リモコンを使用して、室内の離れた場所からプロジェクターを制御で きます。

リモコンは、本機のリモコン受光部に対して下図の角度で使用してく ださい。





プロジェクターの基本機能を使用する

本機の基本機能を説明します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターの電源を入れる」 p.34
- ・「プロジェクターの電源を切る」 p.36
- ・「テストパターンを表示する」 p.37
- 「設置モードを選択する」 p.38
- ・「映像の位置を調整する(レンズシフト)」 p.40
- ・「プロジェクターの傾きを調整する」 p.41
- ・「映像の形状を補正する」 p.42
- 「映像の大きさを調整する」 p.48
- ・「映像のピントを調整する」 p.49
- 「投写映像を切り替える」 p.50
- ・「映像のアスペクト比を設定する」 p.51
- ・「カラーモードを設定する」 p.53
- 「映像の画質を調整する」 p.55
- 「映像の色合いを調整する」 p.60

プロジェクターの電源を入れる

プロジェクターの電源を入れた後、使用するコンピューターまたはビ デオ機器の電源を入れます。

本機とコンセントを電源コードで接続します。



\Lambda 警告

必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電 源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必 ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

本機はスタンバイ状態になります。スタンバイ状態は、プロジェ クターに電力が供給されていて、電源が入っていない状態です。

2 プロジェクターの電源ボタン、またはリモコンの【On】ボタン を押して本機の電源を入れます。

レンズシャッターが開き、ステータスインジケーターが青色に点 滅します(ウォームアップ状態)。ウォームアップが終わると、 ステータスインジケーターが青色に点灯します。



- ・最初に本機の電源を入れたときには、初期設定ウィザー ドが表示されます。上下左右ボタンと【Enter】ボタンを 使って、ピント、設置モード、言語を設定してくださ い。
- 初期設定では、プロジェクターのメニュー画面は黒で表示されます。本書では断りがないかぎり白い画面を用いて説明しています。メニューのカラーテーマは[表示]メニューの[メニューカラー]で変更できます。

映像が投写されないときは、以下を試してください。

- ・接続されているコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。
- ノートパソコンを使用するときは、コンピューターの画面出力を切り替えます。
- ・DVDなどのメディアを挿入して再生します。
- ・プロジェクターの【Source】ボタンを押します。
- ・リモコンで、投写したい入力ソースに対応するボタンを押します。

⚠ 警告

- ・ 投写中は本機のレンズをのぞきこまないでください。目に損傷を与える おそれがあります。特にお子様の行動にご注意ください。
- 本機から離れた場所でリモコンを使って電源を入れるときは、レンズをのぞいている人がいないことを確認してください。
- ・ 投写中に本などで投写光を遮らないでください。投写光を遮ると、光の 当たる部分が高温になって溶けたり、やけどや火災の原因になります。 また、反射した光でレンズ部が高温になり、本機が故障する原因となり ます。投写を中断するときは、本機の電源を切ってください。

プロジェクターの電源を入れる



[動作] メニューの [ダイレクトパワーオン] が [オン] に設 定されているときは、本機に電源コードを接続したときに自動 で電源が入ります。コンセントに電源プラグが差し込まれた状 態で、停電復旧やブレーカー操作による電源供給が発生する と、本機の電源がオンになりますのでご注意ください。

▶ 関連項目

・「動作メニュー」 p.90

使用後にプロジェクターの電源を切ります。



1 プロジェクターの電源ボタン、またはリモコンの【Standby】ボ タンを押します。

シャットダウン確認画面が表示されます。

電源を切りますか?

はい : 🕛 ボタンを押す

いいえ:他のボタンを押す



再度プロジェクターの電源ボタン、またはリモコンの 【Standby】ボタンを押します。(電源を切らないときは、他の ボタンを押します。)

光源がオフになり、レンズシャッターが閉じて、ステータスイン ジケーターが消灯します。



3 本機を搬送または保管するときは、すべてのインジケーターが消 灯していることを確認してから電源コードを抜いてください。
テストパターンを表示する

テストパターンを表示させて、投写映像を調整できます。



テストパターン表示中には調整できない項目があります。これ らの項目は、映像機器から実際に映像を投写して調整してくだ さい。

プロジェクターの電源を入れます。



リモコンの【Pattern】ボタンを押します。



テストパターンは [設置] メニューからも表示できます。



• [表示位置調整] :映像機器を接続せずにテストパターンを表示します。



- [カラーアイソレーション: R] :入力映像のうち、R(赤)成 分のみを表示します。
- [カラーアイソレーション:G]:入力映像のうち、G(緑)成 分のみを表示します。
- [カラーアイソレーション: B] :入力映像のうち、B(青)成 分のみを表示します。



カラーアイソレーションを表示するときは、ビデオ機器を 接続して映像を投写してください。

映像を調整します。

5 テストパターン表示を終了するには、再度【Pattern】ボタンを 押します。

設置モードを選択する

- プロジェクターの設置方法によって、設置モードを変更します。
- [フロント] (初期設定): 机上に設置して、スクリーンの正面か ら投写します。
- [フロント・天吊り] : 天吊り設置して、映像を上下反転して投写 します。
- 「リア]:リアスクリーンの裏側から映像を左右反転して投写します。
- [リア・天吊り] : 天吊り設置して、リアスクリーンの裏側から映像を上下左右反転して投写します。

▶ 関連項目

- ・「メニューから設置モードを変更する」 p.38
- ・「プロジェクターの設置・取り付け」 p.18

メニューから設置モードを変更する

メニューから設置モードを変更して、映像を上下左右反転します。



本機の電源を入れて、映像を表示します。



3 [設置]

[設置]を選択し、【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	設置	
映像調整	テストバターン	-
信号入出力	設置モード	フロント
10 M	幾何学歪み補正	タテヨコ台形補正
表示	ブランキング	
動作	高地モード	オフ
e67世	設置初期化	
吉住 オルトローク	表示	
ネットワーク メモリー 初期・全体設定	無信号時画面	青
	スタートアップ表示	オン
	メッセージ表示	オン
	メニューカラー	白
	スタンバイ確認	オン
	液晶アライメント	オン へ
	調整色	R
	バターン色	R/G/B
	調整開始	
	メモリー	

- 4 [設置モード]を選択し、【Enter】ボタンを押します。
- 5 お使いの環境に合わせた設置モードを選択し、【Enter】ボタンを押します。

[設置モード]		戻る
	フロント	
 ✓ 	フロント・天吊り	
	リア	
	リア・天吊り	



6 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了し ます。

本機を投写面に対して平行に設置できないときや、映像の位置を調整 したいときは、レンズシフト機能を使って映像の位置を上下左右に移 動します。

本機の電源を入れて、映像を表示します。

操作パネルまたはリモコンの【Lens】ボタンを押します。



- 3 画面に [レンズシフト調整] と表示されるまで 【Lens】ボタンを 押します。
- 操作パネルまたはリモコンの上下左右ボタンを押して、映像の位置を調整します。



- 最大可動領域(ヨコ):H×47%
- ② 最大可動領域(タテ): V×96%
- ⑧ 投写映像の1/2 (タテ)
- ▲ 投写映像の1/2 (ヨコ)



5 終了したら、操作パネルまたはリモコンの【Esc】ボタンを押します。

▲ 注意

- 本機を輸送するときは、レンズ位置を中心に戻してください。レンズが 中心位置にない状態で輸送すると、レンズシフトの機構が破損するおそ れがあります。
- レンズ可動部に指を挟まないようにしてください。けがの原因になることがあります。



- ・ 画面の位置を上下方向に調整するときは、画面を下から上に移動して調整し、終了してください。上から下に移動して終了すると、映像の位置が下にずれる場合があります。
- ・レンズが中心位置にあるときに、映像が最も鮮明になります。
- ・レンズ位置を中心に戻すには、操作パネルまたはリモコンの 【Lens】ボタンを3秒以上長押しします。

プロジェクターの傾きを調整する

机上に設置したときに、投写映像が水平方向に傾いている(左右で高 さが違う)ときは、フロントフットで本機が水平になるように調整し ます。

- ▲ 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 映像が傾いているときは、フロントフットを回して左右の高さを 調整します。





- フットを伸ばす
- 🖉 フットを縮める

約3度まで角度を調整できます。

投写映像がゆがむときは、映像の形状を補正します。

▶ 関連項目

•「映像の形状を補正する」 p.42

スクリーンの正面にプロジェクターを設置して、水平にすることで、 傾きやゆがみのない映像を投写できます。スクリーンに対して斜めに プロジェクターを設置したり、上下に傾けて設置したりしたときは、 映像の形状を補正します。

補正後は、映像が少し小さくなります。

投写映像の画質を維持するためには、プロジェクターの設置位置を調 整して映像サイズや形状を調整することをお勧めします。

▶ 関連項目

- ・「タテヨコ台形補正で映像のゆがみを補正する」 p.42
- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 p.43
- ・「ポイント補正で映像のゆがみを補正する」 p.45

タテヨコ台形補正で映像のゆがみを補正する

[タテヨコ台形補正] メニューを使用して、映像のゆがみを補正しま す。



映像を補正できる条件は、投写角度が上下左右約30°以内のときです。



- 2 操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。
- こ設置〕を選択し、【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	設置		
映像調整	テストバターン		-
信号入出力	設置モード	フロント	
設置	幾何学歪み補正	タテヨコ台形補正	
表示	ブランキング		
動作	高地モード	オフ	
「「「」	設置初期化		
ウットローク	表示		
ネットワーク メモリー 初期・全体設定	無信号時画面	青	
	スタートアップ表示	オン	
	メッセージ表示	オン	
	メニューカラー	白	
	スタンバイ確認	オン	
	液晶アライメント	オン	^
	調整色	R	
	バターン色	R/G/B	
	調整開始		
	メモリー		
	Annual D		

4

[幾何学歪み補正]を選択し、【Enter】ボタンを押します。 [幾何学歪み補正] 画面が表示されます。

「タテヨコ台形補正」を選択して、【Enter】ボタンを押します。必要に応じて[はい]を選択して、【Enter】ボタンを押します。

[タテヨコ台形補正] 調整画面が表示されます。

[台形補正]	
タテ台形補正	50 🔻 ——— 🔺
ヨコ台形補正	50 ┥ ——— 🕨



操作パネルまたはリモコンの上下左右ボタンで補正方法を選択 し、映像の形状を補正します。

[タテ台形補正]



・ [ヨコ台形補正]





終了したら、【Esc】ボタンを押します。 補正後は、映像が少し小さくなります。



Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する

[Quick Corner] 機能を使用して、映像のゆがみと大きさを補正します。





2

本機の電源を入れて、映像を表示します。

操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。



[設置]を選択し、【Enter】ボタンを押します。





[幾何学歪み補正]を選択し、【Enter】ボタンを押します。 [幾何学歪み補正] 画面が表示されます。

[幾何学歪み補正]	戻る
✔ タテヨコ台形ネ	甫正
Quick Corner	
ポイント補正	



6 上下左右ボタンを押して調整するコーナーを選択し、【Enter】 ボタンを押します。

[Quick Corner]	
[戻る] 2秒間押下	で初期化



[Quick Corner] で補正した結果を初期化するには、エリ ア選択画面が表示されているときに【Esc】ボタンを約2 秒間押し、「はい」を選択します。

上下左右ボタンを押して、映像の形状を調整します。 71 【Enter】ボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。



- 3 手順6と7を繰り返して、調整が必要なすべてのコーナーを調整します。
- 9
- 終了したら、【Esc】ボタンを押します。

Quick Corner実行後は、 [設置] メニューの [幾何学歪み補正] が [Quick Corner] に設定されます。

次回、操作パネルの矢印ボタンを押したときは、エリア選択画面が表 示されます。

ポイント補正で映像のゆがみを補正する

[ポイント補正]機能を使用して部分的に発生するわずかなゆがみを 補正します。投写画像を格子で区切り、格子の交点を上下左右に移動 させることで投写画面のゆがみを補正します。.



本機の電源を入れて、映像を表示します。

操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。



[設置]を選択し、【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	1Q 111	
映像調整	テストバターン	-
信号入出力	設置モード	フロント
19.11	幾何学歪み補正	タテヨコ台形補正
表示	ブランキング	
動作	高地モード	オフ
修开御	設置初期化	
5	表示	
ネットワーク	無信号時画面	青
x+y-	スタートアップ表示	オン
初期・全体設定	メッセージ表示	オン
	メニューカラー	自
	スタンバイ確認	オン
	液晶アライメント	オン へ
	調整色	R
	バターン色	R/G/B
	調整開始	
	メモリー	
	Annual Provide State	

4

[幾何学歪み補正]を選択し、【Enter】ボタンを押します。 [幾何学歪み補正]画面が表示されます。

[幾何学歪み補正]	戻る
✔ タテヨコ台形補正	
Quick Corner	
ポイント補正	

5 [ポイント補正] を選択し、【Enter】ボタンを押します。必要 に応じて [はい] を選択して、【Enter】ボタンを押します。 **6** [ポイント補正]を選択し、【Enter】ボタンを押します。

[ポイント補正]	戻る
Quick Corner	
ポイント補正	
初期化	



[Quick Corner] で映像のゆがみと大きさを大まかに補正 し、 [ポイント補正] で細かく調整します。

7 ポイントの数を選択し、【Enter】ボタンを押します。 投写画面に格子が表示されます。

格子が見えにくいときは、【Esc】ボタンを押して、「ポイント補正」メニューの「パターン色」で色を変更します。

8 上下左右ボタンを押して補正するポイントを選択し、【Enter】 ボタンを押します。





上下左右ボタンで映像のゆがみを補正します。



- 10 続けて他のポイントを補正する場合は、【Esc】ボタンを押して 前の画面に戻り、手順8、9を行います。
- **11** 終了したら、【Esc】ボタンを押します。

・ [ポイント補正] で補正した結果を初期化するには、 [ポイント補正] で [初期化] を選択します。

- ▶ 関連項目
- ・「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 p.43

ズーム機能で映像の大きさを調整できます。



▲ 本機の電源を入れて、映像を表示します。



操作パネルまたはリモコンの【Lens】ボタンを押します。



- 3 画面に [ズーム調整] と表示されるまで 【Lens】 ボタンを押します。
- **4** 操作パネルまたはリモコンの左右ボタンを長押ししてサイズを調整します。
- **5** 終了したら、【Esc】ボタンを押します。

フォーカス機能でピントのズレを調整します。



▲ 本機の電源を入れて、映像を表示します。



操作パネルまたはリモコンの【Lens】ボタンを押します。



- 4 操作パネルまたはリモコンの左右ボタンを長押ししてピントを調整します。
- **月** 終了したら、【Esc】ボタンを押します。

投写映像を切り替える

コンピューターとDVDプレーヤーなど複数の機器をプロジェクターに 接続しているときは、投写する映像を切り替えます。



接続機器の電源が入っていることを確認します。



2 ビデオ機器の映像を表示するときは、DVDなどのメディアを挿入 して再生します。

次のいずれかの操作を行います。 3

> 目的の機器からの映像が表示されるまで、プロジェクターの 【Source】ボタンを押します。



リモコンで、表示したい入力ソースのボタンを押します。



本機はさまざまな縦横比(アスペクト比)で映像を表示できます。通 常は、接続機器からの入力信号によって映像のアスペクト比が決まり ます。映像をスクリーンに合わせるために、手動でアスペクト比を切 り替えることもできます。

▶ 関連項目

- ・「映像のアスペクト比を切り替える」 p.51
- ・「アスペクトモードの種類」 p.51

映像のアスペクト比を切り替える

投写する映像のアスペクト比を切り替えます。



本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。



リモコンの【Aspect】ボタンを押します。



アスペクト比の一覧が表示されます。

[アスペクト]	戻る
✓ オート	
フル	
ズーム	
アナモフィック	
Hスクイーズ	

- **3** お好みのアスペクト比を選択して、【Enter】ボタンを押します。
- ④ 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。



アスペクトモードの種類

接続機器からの入力信号に応じて、以下のアスペクト比を選択できま す。



 著作権法で保護されている映像をアスペクト機能で圧縮、引き 伸ばし、分割などを行い、営利目的で公衆に視聴させた場合 は、著作者の権利を侵害するおそれがあります。

アスペクトモード	説明
オート	入力信号によってアスペクト比が自動的に設定さ れます。
フル	入力信号のアスペクト比を維持せずに、投写エリ ア全体に映像を表示します。
ズーム	入力信号のアスペクト比を維持して、投写エリア の横幅に合わせて映像を表示します。
アナモフィック	市販のアナモフィックレンズを使用して、2.40:1 のアスペクト比で映像を表示します。 [信号入出 力] メニューの [オーバースキャン] を [オフ] に設定してください。
Hスクイーズ	市販のアナモフィックレンズを使用して、投写エ リアの横幅に合わせて映像を表示します。

カラーモードを設定する

本機は、投写環境や映像の種類に応じて、明るさ、コントラスト、色 を最適化するためのカラーモードを用意しています。環境や映像の種 類に合ったカラーモードを選択できます。

▶ 関連項目

- ・「カラーモードを変更する」 p.53
- ・「カラーモードの種類」 p.53

カラーモードを変更する

リモコンでカラーモードを変更して、映像を最適化します。

- 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 リモコンの【Color Mode】ボタンを押してカラーモードを切り替 えます。



カラーモードの一覧が表示されます。

[カラーモード]	戻る
✔ ダイナミック	
ビビッド	
ブライトシネマ	
シネマ	
ナチュラル	
ナチュラル	

- 3 矢印ボタンでカラーモードを選択して【Enter】ボタンを押しま す。
- ④ 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。

カラーモードは [映像調整] メニューの [カラーモード] でも 設定できます。

カラーモードの種類

投写している映像の種類に応じて、以下のカラーモードを設定できま す。

カラーモード	説明
ダイナミック	最も明るいモードです。明るさを優先したい場合 に適しています。
ビビッド	明るい部屋でさまざまなコンテンツを楽しむ場合 に適しています。

カラーモード	説明
ブライトシネマ	明るい部屋で映画などのコンテンツを楽しむのに 適しています。
シネマ	暗い部屋で映画などのコンテンツを楽しむのに適 しています。
ナチュラル	映像の色調整を行いたい場合に適しています。

投写映像の画質を細かく調整できます。

▶ 関連項目

- ・「シャープネスを調整する」 p.55
- ・「フレーム補間を設定する」 p.56
- 「光源の明るさを設定する」 p.57
- ・「映像の光量を調整する」 p.57
- ・「映像の解像感を調整する(イメージ強調)」 p.58

シャープネスを調整する

「シャープネス」で映像の輪郭の見え方を調整します。

- 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。 П
- 操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。 2

3

[映像調整]を選択し、【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	映像調整	
映像調整	カラーモード	ダイナミック
信号入出力	明るさ	50
設置	コントラスト	50
表示	色の濃さ	50
動作	色合い	50
藤理	シャープネス	
	ホワイトバランス	
ネットワーク	フレーム補間	オフ
メモリー	レーザーライト出力	100 %
初期・全体設定	ダイナミックコントラスト	オフ
	プログレッシブ変換	オフ
	イメージ強調	
	シーン適応ガンマ補正	5
	ガンマ	0
	RGBCMY	
	初期値に戻す	
	入力ソース	HDMI1
	アスペクト	オート

- **4** [シャープネス]を選択して、以下のいずれかを選択します。
 - 「スタンダード」: 投写映像全体の輪郭を強調します。 強調]と「低域強調]も連動して調整されます(初期値の5 に戻ります)。
 - 「高域強調」:髪の毛や衣服の模様などの細かい部分を強調し ます。



左右ボタンを押して、映像の輪郭を調整します。

[シャープネス]		戻る
スタンダード	7 ┥	
高域強調	7 -	
低域強調	7 -	

値を高くすると輪郭が強調され、値を低くするとソフトになりま す。

6 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了し ます。

フレーム補間を設定する

「フレーム補間」機能を使って、前後のフレームから中間のフレーム を自動生成して補間することで、動きの早い動画をなめらかに再生で きます。



- フレーム補間は以下の場合に有効です。
- 「信号入出力」メニューの「映像処理」が「きれい」のとき。

入力信号が4K 100/120Hzでないとき。



- 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- リモコンの【Frame Int】ボタンを押します。 2



3 補間レベルを選択して【Enter】ボタンを押します。

[フレーム補間]	戻る
✓ オフ	
標準	
強	

4 終了したら、【Frame Int】ボタンを押します。



「フレーム補間」は「映像調整」メニューでも設定できます。

光源の明るさを設定する

光源の明るさを設定します。



フリモコンの【Light Output】ボタンを押します。

On Standby On Standby Source HDMI1 (HDMI2) Aspect Information Light Output (Fine / Fast)

日 左右ボタンで明るさを設定します。



映像の光量を調整する

ダイナミックコントラストをオンにすると、映像の明るさに合わせて プロジェクターの光量を自動的に調整することでコントラストを改善 します。

- ▲ 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- ア操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。
- [映像調整]を選択し、【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	映像調整	
映像調整	カラーモード	ダイナミック
信号入出力	明るさ	50
設置	コントラスト	50
表示	色の濃さ	50
動作	色合い	50
管理	シャープネス	
	ホワイトバランス	
ネットワーク	フレーム補間	オフ
メモリー	レーザーライト出力	100 %
初期・全体設定	ダイナミックコントラスト	オフ
	プログレッシブ変換	オフ
	イメージ強調	
	シーン適応ガンマ補正	5
	ガンマ	0
	RGBCMY	
	初期値に戻す	
	入力ソース	HDMI1
	アスペクト	オート



4

[ダイナミックコントラスト]を選択し、【Enter】ボタンを押 します。

映像の画質を調整する



5 以下のいずれかを選択し、【Enter】ボタンを押します。

- [標準] :標準の光量調整が行われます。
- 「高速]:シーンが切り替わったとき、すぐに光量を調整しま す。



【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了し 6 ます。

映像の解像感を調整する(イメージ強調)

映像の解像感を調整することで、質感や素材感のあるくっきりとした 映像を表現できます。





2 リモコンの【Image Enh】ボタンを押します。



[イメージ強調プリセット]	を選択し、	[Enter]	ボタンを押し
ます。			

3





プリセットを選択し、【Enter】ボタンを押します。

✓ オフ	
プリセット1	
プリセット2	
プリセット3	
プリセット4	
プリセット5	

プリセットに登録されている以下の項目の設定値が映像に反映さ れます。

- ・ [ノイズリダクション]
- 「MPEGノイズリダクション】
- 「超解像]
- 「自動コントラスト強調」
- 必要に応じて、「映像調整」メニューでそれぞれの設定値を個別 5 に調整します。
 - 「ノイズリダクション」:映像のざらつきを抑えます。
 - [MPEGノイズリダクション]: MPEG形式の映像のざらつきを 抑えます。
 - 「超解像」:解像度の低い映像を投写するときに、解像度を高 めて映像のボケを軽減します。
 - 「自動コントラスト強調」:映像のコントラストを部分的に自 動調整して、鮮やかでメリハリのある映像にします。





6

【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了し



投写映像の色合いを細かく調整できます。

▶ 関連項目

- ・「色温度を調整する」 p.60
- ・「RGBを調整する(オフセット・ゲイン)」 p.61
- ・「ガンマを調整する」 p.62
- ・「色相、彩度、明度を調整する」 p.63

色温度を調整する

映像全体の色合いを調整します。映像の青みが強すぎる、赤みが強す ぎるなどのときに調整します。



2

本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。

操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。

3

[映像調整]を選択し、【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	映像調整	
映像調整	カラーモード	ダイナミック
信号入出力	明るさ	50
設置	コントラスト	50
表示	色の濃さ	50
動作	色合い	50
統理	シャープネス	
	ホワイトバランス	
ネットワーク	フレーム補間	オフ
メモリー	レーザーライト出力	100 %
初期・全体設定	ダイナミックコントラスト	オフ
	プログレッシブ変換	オフ
	イメージ強調	
	シーン適応ガンマ補正	5
	ガンマ	0
	RGBCMY	
	初期値に戻す	
	入力ソース	HDMI1
	アスペクト	オート

- ④ [ホワイトバランス] > [色温度] の順に選択して、【Enter】 ボタンを押します。
- 5 左右ボタンを押して、映像の色合いを調整します。

[ホワイトバランス]		戻る
色温度	10 L 🖣 🗕	► н

値を高くすると青みがかった映像になり、値を低くすると赤みが かった映像になります。

映像の色合いを調整する



3,200K~10,000K(カラーモードが [ナチュラル] の場 合)、または0~13(その他のカラーモードの場合)の範 囲で設定します。



【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了し ます。

RGBを調整する(オフセット・ゲイン)

R(赤)G(緑)B(青)の各色について、暗い部分(「オフセッ ト])と明るい部分([ゲイン])の明度を調整します。

- 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。 1
- 操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。 2

3

[映像調整]を選択し、【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	映像調整	
映像調整	カラーモード	ダイナミック
信号入出力	明るさ	50
設置	コントラスト	50
表示	色の濃さ	50
動作	色合い	50
筋理	シャープネス	
	ホワイトバランス	
ネットワーク	フレーム補間	オフ
メモリー	レーザーライト出力	100 %
初期・全体設定	ダイナミックコントラスト	オフ
	プログレッシブ変換	オフ
	イメージ強調	
	シーン適応ガンマ補正	5
	ガンマ	0
	RGBCMY	
	初期値に戻す	
	入力ソース	HDMI1
	アスペクト	オート

4

[ホワイトバランス] > [カスタム] の順に選択して、 【Enter】ボタンを押します。

- 5 調整する色をR(赤)、G(緑)、B(青)から選択して、必要に 応じて以下を調整します。
 - 「オフセット」:映像の暗い部分の明度を調整します。

•

|--|

[カスタム]	戻る
オフセットR	50 ┥ ——— 🕨
オフセットG	50
オフセットB	50
ゲインR	50
ゲインG	50
ゲインB	50

値を高くすると明るくなり、値を低くすると暗くなります。

- 「オフセット」:明るくすると暗い部分の濃淡がはっきりします。暗くするとメリハリのある見え方になりますが、濃淡がわかりにくくなります。
- 「ゲイン」:明るくすると明るい部分が白っぽくなり、濃淡が わかりにくくなります。暗くすると濃淡がはっきりします。
- 6 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了し ます。

ガンマを調整する

ガンマを調整することにより、接続機器の違いにより生じる投写映像 の発色の違いを調整します。



シーンに応じて階調表現を最適化し、メリハリのある映像にす るときは[シーン適応ガンマ補正]で映像を補正します。 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。

操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。

🖪 [映像調整]を選択し、【Enter】ボタンを押します。

よく使う項目	映像調整	
映像調整	カラーモード	ダイナミック
信号入出力	明るさ	50
設置	コントラスト	50
表示	色の濃さ	50
動作	色合い	50
修理	シャープネス	
	ホワイトバランス	
ネットワーク	フレーム補間	オフ
メモリー	レーザーライト出力	100 %
初期・全体設定	ダイナミックコントラスト	オフ
	プログレッシブ変換	オフ
	イメージ強調	
	シーン適応ガンマ補正	5
	ガンマ	0
	RGBCMY	
	初期値に戻す	
	入力ソース	HDMI1
	アスペクト	オート



[ガンマ]を選択し、【Enter】ボタンを押します。

5

補正値を選んで調整します。



数値が小さいほど、映像全体の明るさを抑えてメリハリのある映 像になります。数値が大きいと、映像の暗い部分が明るくなり、 明るい部分は色の濃淡が小さくなります。



6 調整の精度を上げるには、 [カスタム] を選択し、 【Enter】ボ タンを押します。

ガンマ調整グラフで、左右ボタンを使って変更したい階調を選択 7 します。選択された階調を上下ボタンで調整し、【Enter】ボタ ンを押します。



【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了し 8 ます。

色相、彩度、明度を調整する

映像の色相、彩度、明度を調整します。

本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。



リモコンの【RGBCMY】ボタンを押します。





調整する色を選択し、【Enter】ボタンを押します。

[RG	BCMY]		戻る
	色相	彩度	明度
R	50 ——	50 ——	50
G	50 ——	50	50
в	50	50	50
С	50	50	50
М	50	50	50
Y	50	50	50

- 4. 必要に応じて以下を調整します。
 - ・ [色相]:映像全体の色味を、青系〜緑系〜赤系へと調整します。
 - ・ [彩度] :映像全体の鮮やかさを調整します。

・ [明度]:映像全体の明るさを調整します。



- **5** [
 - 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。



[映像調整] メニューの [RGBCMY] でも設定できます。

プロジェクターの便利な機能

プロジェクターの各機能を使用します。

▶ 関連項目

- ・「HDMIリンク機能」 p.66
- ・「映像を一時的に停止する」 p.68
- ・「プロジェクターの設定をメモリーに保存する」 p.69
- ・「映像の詳細設定を行う」 p.71
- ・「セキュリティー機能」 p.73

HDMIリンク機能

本機のHDMI端子にHDMI CEC規格に対応したAV機器を接続すると、接 続機器同士の連携動作が本機のリモコンで操作できます。

例:電源オン連動やAVアンプの音量調整など





・ AV機器がHDMI CEC規格に対応していれば、中継するAVアンプ がHDMI CEC規格に対応していなくてもHDMIリンク機能が利用 できます。

- ・HDMI CEC規格で同時に接続できるプレーヤーは3台までです。
- ▶ 関連項目
- ・「HDMIリンク機能を使って接続機器を操作する」 p.66

HDMIリンク機能を使って接続機器を操作する

HDMIリンクを利用できる接続機器を選択して、HDMIリンク機能で機器を操作できます。

 ・ HDMIリンク機能を使用するには、[信号入出力]メニューの [HDMIリンク]を[オン]に設定します。 ← 「信号入出力]、「HDMILLンク]、「HDMILLンク]
 ・ 接続機器側の設定も必要です。詳しくは接続機器の取扱説明書 をご覧ください。
・HDMI CEC規格に対応していても動作しない接続機器や、動作 しない機能があります。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧 ください。
・ケーブルがHDMIの規格に対応していないと動作しません。

▋ リモコンの【HDMI Link】ボタンを押します。



2

[HDMIリンク] が [オン] に設定されていることを確認しま す。

3 [接続機器一覧]を選択して【Enter】ボタンを押します。

[HDMIリンク]		戻る	
接続機器一覧			
HDMIリンク	オン	^	
電源オン連動	双方向		
電源オフ連動	オフ		

HDMIリンクで操作したり、映像を表示したりする機器を選択して【Enter】ボタンを押します。

- ・HDMIリンクされている機器は左側のマークが青色になります。
 - ・機器名が取得できないときは空欄になります。

HDMIリンク機能

- 5 必要に応じて【Esc】ボタンを押して、HDMIリンクのオプション 設定をします。
 - 「電源オン連動〕:本機や接続機器の電源を入れたときに連動 する操作を設定します。



 「電源オフ連動」:本機の電源オフに連動して、接続機器の電 源も切るかどうかを設定します。





【HDMI Link】ボタン、または【Esc】を押してメニューを終了し ます。

本機のリモコンを使って接続機器の再生、停止、音量調整などの操作 ができます。



[信号入出力] メニューの [HDMIリンク] でも設定できます。

▶ 関連項目

・「信号入出力メニュー」 p.84

映像を一時的に停止する

投写中の映像を一時的に停止します。





リモコンの【Blank】ボタンを押して、映像を停止します。





投写を再開するときは、再度【Blank】ボタンを押します。



停止中も映像は進んでいるため、停止した場面から投写を再開 することはできません。

プロジェクターの設定をメモリーに保存する

投写映像の設定値をメモリーに登録して、いつでも必要なときに呼び 出すことができます。



本機の電源を入れて、映像を表示します。



リモコンの【Memory】ボタンを押します。



[メモリー] メニューが表示されます。

よく使う項目	ユニフォーミティー	
映像調整	ログ保存先	USBおよび内部メモリー
信号入出力	一括設定範囲	
設置	言語 🌐	日本語
表示	情報表示	
54.55 154/2	ステータス表示	
99017F	 管理初期化 ネットワーク 有線LAN情報 ネットワーク設定 	
管理		
ネットワーク		
メモリー		
初期・全体設定	ネットワーク初期化	
	メモリー	
	画質	
	レンズボジション	
	メモリー初期化	
	初期・全体設定	
	全初期化	
	ファームウェア更新	



・ [画質]:現在の投写映像の設定を本機のメモリーに保存します(10件まで保存できます)。



• [レンズポジション] :現在のレンズの設定を本機のメモリー に保存します(10件まで保存できます)。



- 現在のズーム、ピント、レンズシフトの設定を保存できます。
- 【Lens1】/【Lens2】ボタンを押すと、 [Memory1] / [Memory2] に保存された設定を呼び出すことができ ます。
- [メモリー初期化] : [メモリー] メニューで調整したすべて の値を初期値に戻します。

4. 次のいずれかを選択します。

• [メモリー保存] :現在の設定を本機のメモリーに保存します (10件まで保存できます)。



• [メモリー呼出] :保存したメモリーを呼び出し、現在の設定 と置き換えます。

プロジェクターの設定をメモリーに保存する

- ・ [メモリー名称変更] :メモリー名を変更します。
- ・ [メモリー削除] : 選択したメモリーを消去します。
- ・[初期化]:メモリーを初期化します。
- 5 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。
- ▶ 関連項目
- ・「映像調整メニュー」 p.81
- ・「設置メニュー」 p.87
- 「メモリーメニュー」 p.95

プロジェクターの詳細な映像調整を行います。

- ▶ 関連項目
- ・「色味を調整する(ユニフォーミティー)」 p.71

色味を調整する(ユニフォーミティー)

ユニフォーミティー機能を使って、投写画像の色味バランスを手動で 調整します。

ユニフォーミティーを調整後も、色味が均一にならない場合が あります。

1 【Menu】ボタンを押し、[管理]を選択して、【Enter】ボタン を押します。

よく使う項目	管理	
映像調整	レンズロック	オフ
信 号 入出力	チャイルドロック	オフ
設置	操作ボタンロック	オフ
表示	ユニフォーミティー	
動作	ログ保存先	USBおよび内部メモリー
100 IH	一括設定範囲	
	言語 🌐	日本語
ネットワーク	情報表示	
メモリー	ステータス表示	
初期・全体設定	管理初期化	
	ネットワーク	
	有線LAN情報	
	ネットワーク設定	
	ネットワーク初期化	
	メモリー	
	画質	
	レンズボジション	





[オン]を選択し、【Enter】ボタンを押します。その後、 【Esc】ボタンを押します。

5 [調整レベル]を選択し、【Enter】ボタンを押します。



8

6 レベルを選択し、【Esc】ボタンを押します。





- [調整開始]を選択し、【Enter】ボタンを押します。 7
 - 調整するエリアを選択し、【Enter】ボタンを押します。





9 必要に応じて、 [赤] 、 [緑] 、 [青] を選択し、それぞれの色 味を調整します。

[ユニフォーミティー]左上	
調整レベル	11/11
赤	0 4 >
緑	0
青	0



調整中に【Enter】ボタンを押すと、投写映像を調整画面と 入力映像で切り替えられます。

- 10 【Esc】ボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。
- この手順を繰り返して、すべてのエリアを調整します。 П
- 12 手順5に戻り、それぞれのレベルで調整します。
- **1** 終了したら、【Menu】ボタンを押します。
以下のセキュリティー機能を使用することで、プロジェクターの盗難 や誤用・悪用を防止します。

- ・レンズロック:【Lens】ボタンでズーム、ピント、レンズシフトの 調整ができないようにします。
- ・操作ボタンロック:プロジェクターのボタン操作をできないように します。
- ・ ヤキュリティーケーブル: プロジェクターを固定して盗難を防ぎま す。

▶ 関連項日

- ・「プロジェクターのレンズとボタンをロックする」 p.73
- ・「セキュリティーケーブルを取り付ける」 p.74

プロジェクターのレンズとボタンをロックする

プロジェクターのボタンをロックして、本機の無断使用を防ぎます。 ズーム、ピント、レンズシフトの設定をロックして、変更できないよ うにすることもできます。

【Menu】ボタンを押し、 [管理] を選択して、 【Enter】ボタン を押します。

よく使う項目	管理		
映像調整	レンズロック	オフ	
信号入出力	チャイルドロック	オフ	
設置	操作ボタンロック	オフ	
表示	ユニフォーミティー		
動作	ログ保存先	USBおよび内部メモリー	
管理	一括設定範囲		
	言語 🌐	日本語	
ネットワーク	情報表示		
メモリー	ステータス表示		
初期・全体設定	管理初期化		
	ネットワーク		
	有線LAN情報		
	ネットワーク設定		
	ネットワーク初期化		
	メモリー		
	画質		
	レンズボジション		



2

ロックの種類を選択し、【Enter】ボタンを押します。

- 操作パネルまたはリモコンの【Lens】ボタンを使って、ズー ム、ピント、レンズシフトの設定を変更できないようにするに は、「レンズロック」を選択します。
- プロジェクターの電源ボタンをロックするには、「チャイルド ロック〕を選択します。

ロック時に電源をオンにするには、電源ボタンを3秒以上押し ます。



「動作] メニューで「ダイレクトパワーオン] を「オ ン〕に設定しているときは、「チャイルドロック」をオ ンに設定していても、電源コードを接続するだけでプロ ジェクターの電源がオンになりますので、ご注意くださ 610

 ・プロジェクターのすべてのボタンをロックするときは、「操作 ボタンロック]>「全ロック」の順に選択します。



プロジェクターのボタンがロックされていても、リモコ ンからは操作できます。

- ・ 雷源ボタン以外のすべてのボタンをロックするときは、「操作

 ・ 電源ボタン以外のすべてのボタンをロックするときは、「操作
 ・

 ボタンロック]> [電源以外ロック]の順に選択します。
- 確認メッセージが表示されたら [はい]を選択して、【Enter】 ボタンを押します。

「操作ボタンロック」の設定が有効になります。

「チャイルドロック」の設定を有効にするには、プロジェクター 4 を再起動します。

▶ 関連項目

- ・「ボタンロックを解除する」 p.74
- ・「動作メニュー」 p.90
- ・「管理メニュー」 p.91

ボタンロックを解除する

以下の方法で、プロジェクターのボタンロックを解除します。

- ・ [管理] メニューで [レンズロック] を [オフ] に設定します。
- 「管理]メニューで「チャイルドロック]を「オフ]に設定しま す。

 「管理]メニューで「操作ボタンロック」を「オフ」に設定しま す。



「操作ボタンロック」は、操作パネルの【Enter】ボタンを約7 秒間押し続けることでも解除できます。メッセージが表示さ れ、ロックが解除されます。

▶ 関連項目

・「管理メニュー」 p.91

セキュリティーケーブルを取り付ける

盗難防止のために、セキュリティーケーブルを本機に取り付けること ができます。

Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティーシステムを本機の ヤキュリティースロットに取り付けます。



マイクロセーバーセキュリティーシステムの詳細は、Kensington 社のWebサイトをご覧ください。

https://www.kensington.com/



プロジェクターを監視および制御する

ネットワーク経由でプロジェクターの監視と制御を行う方法について説明します。

- ▶ 関連項目
- ・「PJLinkについて」 p.76

PJLinkについて

JBMIA(一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会)により ネットワーク対応プロジェクターの制御用プロトコルの標準化が進め られ、制御用標準プロトコルPJLinkが策定されました。 本機はJBMIAによって策定されたPJLink Class2規格に準拠しています。 PJLinkの検索機能で使用するポート番号は4352(UDP)です。 PJLinkを使用するには、事前にネットワーク設定を行う必要がありま す。

次のコマンドを除く、PJLink Class2によって規定されているすべてのコマンドに対応しており、PJLink規格の適合性を確認しています。

http://pjlink.jbmia.or.jp/

・非対応コマンド

働き	PJLinkコマンド			
ミュート設定	ミュート設定 映像ミュート設定			
	音声ミュート設定	AVMT 21		

・入力端子名称および入力ソース番号の対応表

入力端子名称	入力ソース番号
HDMI1	32
HDMI2	33

・「メーカ名問合せ」で表示するメーカ名

EPSON

- ・「機種情報問合せ」で表示する機種名
 - EPSON LS12000B

メニューの操作

プロジェクターメニューの使い方と基本的な設定について説明します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターメニューを操作する」 p.78
- ・「ソフトキーボードを操作する」 p.80
- ・「映像調整メニュー」 p.81
- ・「信号入出力メニュー」 p.84
- ・「設置メニュー」 p.87
- ・「表示メニュー」 p.88
- ・「動作メニュー」 p.90
- ・「管理メニュー」 p.91
- ・「ネットワークメニュー」 p.93
- ・「メモリーメニュー」 p.95
- ・「初期・全体設定メニュー」 p.96
- ・「メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする(一括設定機能)」 p.97

プロジェクターメニューを操作する

投写画面に表示されるメニューを使って、本機の各種動作を設定しま す。



操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。 メニューが表示されます。

よく使う項目	映像調整	
映像調整	カラーモード	ダイナミック
信号入出力	明るさ	50
設置	コントラスト	50
表示	色の濃さ	50
動作	色合い	50
節理	シャープネス	
百 理 	ホワイトバランス	
ネットワーク	フレーム補間	オフ
メモリー	レーザーライト出力	100 %
初期・全体設定	ダイナミックコントラスト	オフ
	プログレッシブ変換	オフ
	イメージ強調	
	シーン適応ガンマ補正	5
	ガンマ	0
	RGBCMY	
	初期値に戻す	
	入力ソース	HDMI1
	アスペクト	オート

初期設定では、プロジェクターのメニュー画面は黒で表示 されます。本書では断りがないかぎり白い画面を用いて説 明しています。メニューのカラーテーマは[表示]メ ニューの[メニューカラー]で変更できます。

よく使う項目	映像調整	映像調整		
映像調整	カラーモード	ダイナミック		
信号入出力	明るさ	50		
設置	コントラスト	50		
表示	色の濃さ	50		
動作	色合い	50		
管理	シャープネス			
144 D-0	ホワイトバランス			
ネットワーク	フレーム補間	オフ		
メモリー	レーザーライト出力	100 %		
初期・全体設定	ダイナミックコントラスト	オフ		
	プログレッシブ変換	オフ		
	イメージ強調			
	シーン適応ガンマ補正			
	ガンマ			
	RGBCMY			
	初期値に戻す			
	入力ソース	HDMI1		
	アスペクト	オート		

- 2 上下ボタンを押して、左側に表示されるメニュー項目を選択します。各メニューの設定が右側に表示されます。
- 日 設定を変更するには、
 【Enter】ボタンを押します。
- 上下ボタンを押して、設定項目を選択します。
- 5 メニュー設定をすべて初期値に戻すには、 [初期・全体設定] を 選択します。
- **6** メニューの設定が終わったら、【Esc】ボタンを押します。

プロジェクターメニューを操作する



【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了し ます。



ソフトキーボードを操作する

数字や文字の入力が必要なときはソフトキーボードが表示されます。



リモコンまたは操作パネルの上下左右ボタンを使って、入力する 数字や文字を選択し、【Enter】ボタンを押します。

										_			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	!	"	#	\$
а	b	с	d	е	f	g	h	i	j	%	&	1	,
k	Ι	m	n	0	р	q	r	s	t	*	+	()
u	v	w	x	у	z	@	•	Spa	ace	/	:	SYI	M2
		A	/a	÷	-	-	÷	Ø	<u><</u>				
								0	к		Ca	ancel	



アキストの入力後、キーボードの [OK] を選択して入力を確定 します。 [Cancel] を選択すると、テキストの入力を取り消しま す。

▶ 関連項目

・「ソフトキーボードで入力可能な文字」 p.80

ソフトキーボードで入力可能な文字

ソフトキーボードでは、以下の文字を入力できます。

文字タイプ	詳細
数字	0123456789
アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
記号	!" # \$ % & '() * + , / :; < = > ? @ [\] ^_`{ }~

[映像調整]メニューでは、投写映像の画質を調整できます。カラー モードや入力ソースによって設定できる項目が異なります。

よく使う項目	映像調整	映像調整		
映像調整	カラーモード	ダイナミック		
信号入出力	明るさ	50		
設置	コントラスト	50		
表示	色の濃さ	50		
動作	色合い	50		
·····	シャープネス			
	ホワイトバランス			
ネットワーク	フレーム補間	オフ		
メモリー	レーザーライト出力	100 %		
初期・全体設定	ダイナミックコントラスト	オフ		
	プログレッシブ変換	オフ		
	イメージ強調			
	シーン適応ガンマ補正	5		
	ガンマ	0		
	RGBCMY			
	初期値に戻す			
	入力ソース	HDMI1		
	アスペクト	オート		

設定	選択肢	説明
カラーモード	カラーモードの一 覧を参照	映像の種類や使用環境に応じて、適 切なカラーモードを選択します。
明るさ	レベル調整	映像の明るさを調整します。
コントラスト	レベル調整	映像のコントラストを調整します。
色の濃さ	レベル調整	映像の色の濃さを調整します。
色合い	レベル調整	映像の色合いを調整します。

設定	選択肢	説明
シャープネス	スタンダード 高域強調 低域強調	映像のシャープ感を調整します。 [スタンダード] :投写映像全体の 輪郭を強調します。[高域強調] と [低域強調] も連動して調整されま す(初期値の5に戻ります)。 [高域強調] :髪の毛や衣服の模様 などの細かい部分を強調します。 [低域強調] :映像全体の輪郭や背 景などを強調します。
ホワイトバランス	色温度	選択したカラーモードに応じて色温 度を設定します。値を高くすると青 みがかった映像になり、値を低くす ると赤みがかった映像になります。
	G-M補正	映像の色合いを細かく調整します。 値を高くすると緑がかった映像にな り、値を低くすると赤みがかった映 像になります。
	カスタム	オフセット、ゲインをR(赤)、G (緑)、B(青)の成分ごとに調整し ます。
	グレースケール	選択した調整レベルに対して、赤、 緑、青、明るさの補正を行います。
フレーム補間	オフ 弱 標準 強	映像の動きの滑らかさを調整しま す。 [映像処理]が[きれい]のときに 表示されます。 ☞ [信号入出力] > [映像処理]
レーザーライト出 力	レベル調整	光源の明るさを設定します。

設定	選択肢	説明
ダイナミックコン トラスト	高速 標準 オフ	映像の明るさに合わせて投写時の光 量を調整します。
プログレッシブ変 換	オフ ビデオ フィルム/オート	インターレース信号をプログレッシ ブ信号に変換します。 ・ [オフ] :動きの速いビデオ映像 に適しています。 ・ [ビデオ] :一般のビデオ映像に 適しています。 ・ [フィルム/オート] :映画フィル ムやCG、アニメーションに適して います。 [映像処理] が [きれい] のときに 表示されます。 ● [信号入出力] > [映像処理]
イメージ強調	イメージ強調プリ セット	[イメージ強調]の設定値をプリ セットの値で一括で設定します。
	ノイズリダクショ ン	映像のざらつきを抑えます。 [映像処理]が[きれい]のときに 表示されます。 ☞ [信号入出力] > [映像処理]
	MPEGノイズリダ クション	MPEG形式の映像のざらつきを抑えま す。 [映像処理]が[きれい]のときに 表示されます。 ☞ [信号入出力] > [映像処理]
	超解像	解像度の低い映像を投写するとき に、解像度を高めて映像のボケを軽 減します。

設定	選択肢	説明
	自動コントラスト 強調	映像のコントラストを部分的に自動 調整して、鮮やかでメリハリのある 映像にします。
	初期化	[イメージ強調]メニューで調整し たすべての値を初期値に戻します。
シーン適応ガンマ 補正	レベル調整	シーンに応じて階調表現を最適化し て、メリハリのある映像にします。 コントラストを強調したいときは、 大きい値を選択します。
ガンマ	-2~2 カスタム	補正値を選んだり、ガンマグラフを 見ながら映像の発色を調整します。
RGBCMY	レベル調整	R(赤)、G(緑)、B(青)、C(シ アン)、M(マゼンタ)、Y(イエ ロー)ごとに色相、彩度、明度を調 整します。
初期値に戻す	—	現在のカラーモードで調整したすべ ての値を初期値に戻します。
入力ソース		入力ソースごとに保存されるメ ニューが表示されます。 設定を変更するには、変更したい入 カソースの映像が投写されているこ とを確認してください。
アスペクト	アスペクト比の一 覧を参照	映像のアスペクト比(縦横比)を設 定します。
初期値に戻す	—	現在の入力ソースで調整したすべて の値を初期値に戻します。
映像調整初期化		[映像調整]メニューで調整したす べての値を初期値に戻します。



[明るさ]の設定は光源の明るさには影響しません。光源の明 るさを変更するには、 [レーザーライト出力]を設定します。

▶ 関連項目

- ・「カラーモードの種類」 p.53
- ・「アスペクトモードの種類」 p.51
- 「映像の画質を調整する」 p.55
- •「映像の色合いを調整する」 p.60

本機は入力信号方式を自動的に検出し、映像設定を最適化します。詳 細な設定が必要なときは、[信号入出力]メニューで設定します。入 カソースによって設定できる項目が異なります。

よく使う項目	信号入出力	
映像調整	入力ソース	HDMI1
信号入出力	入力信号フォーマット	
設置	オーバースキャン	オート
表示	カラースペース	オート
動作	ダイナミックレンジ	
筋理	映像処理	きれい
	HDMI IN EQレベル	
ネットワーク	初期値に戻す	
メモリー	EDID	
初期・全体設定	HDMIリンク	
	信号入出力初期化	
	設置	
	テストバターン	
	設置モード	フロント・天吊り
	幾何学歪み補正	ポイント補正
	ブランキング	
	高地モード	オフ
	and the second se	

設定	選択肢	説明
入力ソース		入力ソースごとに保存されるメ ニューが表示されます。 設定を変更するには、変更したい入 カソースの映像が投写されているこ とを確認してください。

設定	選択肢	説明
入力信号フォー マット	ビデオレンジ	接続された機器の設定に合わせて、 本機のビデオレベルを設定します。
		 ・ 「リミテッド(16-235)] : 輝度レン ジが16 - 235のときに選択します。
		・[フル(0-255)] : 輝度レンジが0 - 255のときに選択します。
オーバースキャン	オート オフ 4% 8%	出画率(投写する映像の範囲)を変 更して、映像がトリミングされる範 囲を設定します。
カラースペース	オート BT.709 BT.2020	色空間の変換方式を設定します。
ダイナミックレン ジ	ダイナミックレン ジ	映像の暗部、明部の表示できる範囲 を切り替えます。[オート](推 奨)[SDR][HDR10/HDR10+] [HLG]から選択します。
	映像信号	映像信号を表示します。
	HDR10/HDR10+ 設 定	HDR PQ方式でのダイナミックレンジ のPQ (Perceptual Quantizer) カーブ を切り替えます。 [映像信号] が [HDR10] または [HDR10+] のとき、または [ダイナ ミックレンジ] が [HDR10/HDR10+] のときに表示されます。

設定	選択肢	説明
	HLG 設定	HDR HLG方式でのダイナミックレン ジのHLG(Hybrid Log Gamma)カー ブを切り替えます。 [映像信号]が[HLG]、または[ダ イナミックレンジ]が[HLG]のとき に表示されます。
映像処理	きれい 速い	ゲームなどの動きの速い投写映像に 対して、応答速度を向上させる処理 をします。 ・ [きれい] : [フレーム補間] を [オフ] にすると、映像処理の速 度を改善します。 ● [映像調整] > [フレーム補 間] ・ [速い] : [フレーム補間]、 [ノイズリダクション] 、 [MPEG ノイズリダクション] を無効にし ます。 ● [映像調整] > [フレーム補 間] ● [映像調整] > [フレーム補 間] ■ [映像調整] > [イメージ強 調] > [ノイズリダクション] ■ [映像調整] > [イメージ強 調] > [MPEGノイズリダクショ)
HDMI IN EQレベル	HDMI1 HDMI2	HDMI入力端子に接続している映像機 器に応じてHDMI受信レベルを変更し ます。映像にノイズが入ったり、映 らないときは、設定を変更してくだ さい。 入力ソースを切り替えることなく、 ソースごとに設定できます。

設定	選択肢	説明
初期値に戻す	—	現在の入力ソースで調整したすべて の値を初期値に戻します。
EDID	EDID (HDMI1) EDID (HDMI2)	映像機器に通知する本機の解像度情 報を設定します。映像が正しく表示 されないときは、この設定を変更し てください。 ・ [EDIDモード] :映像の解像度に 合わせて、必要に応じて設定を変 更してください。 ・ [HDR10+] :映像機器がHDR10+ に対応していない場合は、 [オ フ] にすると映像が正しく表示さ れることがあります。
HDMIリンク	接続機器一覧	HDMI端子に接続されている機器の一 覧を表示します。 [HDMIリンク]が[オン]のときに 表示されます。
	HDMIリンク	[オン]に設定すると、HDMIリンク 機能が有効になります。

信号入出力メニュー

設定	選択肢	説明
	電源オン連動	本機または接続機器の電源をオンに したときの動作を設定します。
		・[オフ] : 電源の連動をオフにし ます。
		 「双方向】:本機の電源オンに連動して接続機器の電源をオンに、また、接続機器の電源をオンにしますして本機の電源をオンにします。 「接続機器→PJ】:接続機器の電源をオンにします。 「PJ→接続機器】:本機の電源オンに連動して、接続機器の電源をオンにします。
	電源オフ連動	本機の電源オフに連動して、接続機 器の電源をオフにするかしないかを 設定します。
信号入出力初期化	_	[信号入出力] メニューで調整した すべての値を初期値に戻します。

▶ 関連項目

・「HDMIリンク機能」 p.66

[設置] メニューでは、プロジェクターの設置環境に合わせた設定が できます。

よく使う項目	10 m			
映像調整	テストバターン			
信号入出力	設置モード	フロント		
設置	幾何学歪み補正	タテヨコ台形補正		
表示	ブランキング			
動作	高地モード	オフ		
ers1日	設置初期化			
ちせ トローク	表示			
ネットワーク メモリー 初期・全体設定	無信号時画面	青		
	スタートアップ表示	オン		
	メッセージ表示	オン		
	メニューカラー	白		
	スタンバイ確認	オン		
	液晶アライメント	オン へ		
	調整色	R		
	バターン色	R/G/B		
	調整開始			
	メモリー			

設定	選択肢	説明
テストパターン	表示位置調整 カラーアイソレー ション: R カラーアイソレー ション: G カラーアイソレー ション: B 表示終了	映像のピントやズーム、映像のゆが みを調整できるように、テストパ ターンを表示します。([表示終 了]を選択するか、【Pattern】ボタ ンを押すと、パターン表示を終了し ます。)

設定	選択肢	説明
設置モード	フロント リア フロント・天吊り リア・天吊り	映像が正しい方向で投写されるよう に、スクリーンに対する本機の設置 方法を選択します。
幾何学歪み補正	タテヨコ台形補正	 投写映像の縦方向、横方向のゆがみを補正します。 ・ [タテ台形補正]:投写映像の縦方向のゆがみを補正します。 ・ [ヨコ台形補正]:投写映像の横方向のゆがみを補正します。
	Quick Corner	投写画面のコーナーの形状を個別に 補正します。
	ポイント補正	投写画像を格子で区切り、格子の交 点を上下左右に移動させることで投 写画面のゆがみを補正します。
ブランキング	上 下 左 右	設定した領域の映像を非表示にしま す。
高地モード	オン オフ	標高約1500m以上の場所で本機を使 えるように動作を制御します。
設置初期化	_	[設置]メニューで調整したすべて の値を初期値に戻します。

▶ 関連項目

- ・「設置モードを選択する」 p.38
- 「映像の形状を補正する」 p.42
- ・「プロジェクターの設置・取り付け」 p.18

よく使う項目	表示		
映像調整	無信号時面面	青	-
信号入出力	スタートアップ表示	オン	
設置	メッセージ表示	オン	
表示	メニューカラー	白	
動作	スタンバイ確認	オン	
995 T B	液晶アライメント	オフ	~
	表示初期化		
ネットワーク	動作		
メモリー	ダイレクトパワーオン	オフ	
初期・全体設定	スリーブモード	オン	~
	スリープモード時間	10 分	
	待機モード	通信オン	
	インジケーター表示	オン	
	トリガーアウト	オフ	
	方向ボタン反転	オフ	
	動作初期化		
	管理		

設定	選択肢	説明
無信号時画面	黒 青 ロゴ	入力信号がないときに表示する画面 の色やロゴを選択します。
スタートアップ表 示	オン オフ	[オン]にすると、投写開始時にロ ゴを表示します。
メッセージ表示	オン オフ	[オン]にすると、入力ソース名、 カラーモード名、アスペクト比、映 像信号が入力されていないときの メッセージや高温警告などのメッ セージが投写画面に表示されます。

設定	選択肢	説明
メニューカラー	黒白	プロジェクターメニューのカラー テーマを設定します。
スタンバイ確認	オン オフ	[オン]に設定すると、本機の電源 を切るときにシャットダウン確認画 面を表示します。
液晶アライメント	オン オフ	[オン]に設定すると、液晶アライ メントが調整できます。
	調整色	調整する色を選択します。
	パターン色	調整時の背景パターンの色を選択し ます。
	調整開始	液晶アライメントの調整を開始しま す。
	メモリー	 液晶アライメントの調整結果を保存します。 ・[メモリー保存]:現在の[液晶アライメント]の設定を本機のメモリーに保存します(3件まで保存できます)。 ・[メモリー呼出]:保存したメモリーを呼び出して、現在の[液晶アライメント]の設定と置き換えます。 ・[メモリー名称変更]:保存したメモリーの名称を変更します。 ・[メモリー削除]:選択したメモリーを消去します。
	初期化	[液晶アライメント]で調整したす べての値を初期値に戻します。
表示初期化	_	[表示] メニューで調整したすべて の値を初期値に戻します。

[表示] メニューでは、プロジェクターの各種表示設定ができます。

表示メニュー

▶ 関連項目

- ・「映像を一時的に停止する」 p.68
- ・「液晶パネルの色ずれを補正する(液晶アライメント)」 p.109

[動作] メニューでは、プロジェクターの各種設定ができます。

よく使う項目	動作	
映像調整	ダイレクトパワーオン	オフ
信号入出力	スリープモード	オンへ
設置	スリープモード時間	10分
表示	待機モード	通信オン
動作	インジケーター表示	オン
9519	トリガーアウト	オフ
54 	方向ボタン反転	オフ
ネットワーク メモリー 初期・全体設定	動作初期化	
	管理	
	レンズロック	オフ
	チャイルドロック	オフ
	操作ボタンロック	オフ
	ユニフォーミティー	
	ログ保存先	USBおよび内部メモリー
	一括設定範囲	
	言語 🛞	日本語
	情報表示	

設定	選択肢	説明
ダイレクトパワー オン	オン オフ	[オン]に設定すると、電源プラグ を差し込むだけで本機の電源が入り ます。
スリープモード	オン オフ	[オン]にすると、一定時間映像信 号の入力がないとき自動的に本機の 電源が切れます。
スリープモード時 間	1~30分	[スリープモード] で電源が自動で 切れるまでの時間を設定します。
待機モード	通信オン 通信オフ	スタンバイ状態のときにネットワー ク経由で本機を監視・制御するとき は、 [通信オン] に設定します。

設定	選択肢	説明
インジケーター表 示	オン オフ	[オフ]に設定すると、異常時や警 告時以外は本機のインジケーターを 消灯します。
トリガーアウト	オフ 電源連動 アナモフィック連 動	外部機器に本機の電源の状態(オン/ オフ)などを伝えるため、電源が 入っている間、Trigger Out端子から 12Vの信号(最大200mA)が出力され ます。 [アナモフィック連動]を選択する と、Trigger Out端子からは[アスペ クト]が[アナモフィック]、また は[Hスクイーズ]のときに信号が出 力されます。
方向ボタン反転	オン オフ	本機を天吊り設置しているときは [オン]にして、操作パネルの上下 左右ボタンの動作方向を反転させま す。
動作初期化	—	[動作]メニューで調整したすべて の値を初期値に戻します。

▶ 関連項目

・「プロジェクターの電源を入れる」 p.34

管理メニュー

[管理] メニューでは、プロジェクターの管理者向け設定ができま す。

よく使う項目	管理		
映像調整	レンズロック	オフ	
信 号 入出力	チャイルドロック	オフ	
設置	操作ボタンロック	オフ	
表示	ユニフォーミティー		
動作	ログ保存先	USBおよび内部メモリー	
199 TB	一括設定範囲		
	言語 🌐	日本語	
ネットワーク	情報表示		
メモリー	ステータス表示		
初期・全体設定	管理初期化		
	ネットワーク		
	有線LAN情報		
	ネットワーク設定		
	ネットワーク初期化		
	メモリー		
	画質		
	レンズポジション		

設定	選択肢	説明
レンズロック	オン オフ	ズーム、ピント、レンズシフトの設 定を変更できないようにします。
チャイルドロック	オン オフ	お子様が誤って電源を入れないよう に、プロジェクターの電源ボタンを ロックします。 [操作ボタンロック]が[電源以外 ロック]、または[オフ]のときに 表示されます。

設定	選択肢	説明
操作ボタンロック	全ロック 電源以外ロック オフ	 プロジェクターのボタン操作制限を 設定します。 「全ロック]:すべてのボタンを ロックします。 「電源以外ロック]:電源ボタン を除くすべてのボタンをロックし ます。 「オフ]:ボタンをロックしませ ん。 プロジェクターのボタンがロックさ れていても、リモコンからは操作で きます。
ユニフォーミ ティー	ユニフォーミ ティー	[オン] にすると画面全体の色味の バランスを調整します。
	調整レベル	調整レベルを選択します。
	調整開始	調整するエリアを選択し、赤、緑、 青ごとの色味を調整します。
	初期化	[ユニフォーミティー]で調整した すべての値を初期値に戻します。
ログ保存先	内部メモリー USBおよび内部メ モリー	エラーログや操作ログの保存先を設 定します。
一括設定範囲	すべて 一部	ー括設定機能を使って、すべてのメ ニュー設定をコピーするときは [す べて]を選択します。以下の設定を コピーしたくないときは [一部]を 選択します。 ・ [信号入出力] メニューの [EDID] ・ [ネットワーク] メニュー

設定	選択肢	説明
言語	言語設定	メニュー、メッセージに表示する言 語を選択します。
情報表示	プロジェクター情 報	プロジェクターや映像信号の情報を 確認します。現在表示している入力 ソースによって表示する項目が異な ります。
ステータス表示	_	プロジェクターのステータス情報を 表示します。
管理初期化		[管理] メニューで調整した、以下 を除くすべての値を初期値に戻しま す。 ・ [言語]

▶ 関連項目

- 「メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする(一括設定機能)」 p.97
- ・「プロジェクターのレンズとボタンをロックする」 p.73
- ・「色味を調整する(ユニフォーミティー)」 p.71

[ネットワーク]メニューでは、ネットワーク情報の表示、ネット ワーク経由で本機を使うための設定ができます。

よく使う項目	ユニフォーミティー		
映像調整	ログ保存先	USBおよび内部メモリー	
信号入出力	一括設定範囲		
設置	言語 🛞	日本語	
表示	情報表示		
動作	ステータス表示		
30JTF	管理初期化		
管理	ネットワーク		
ネットワーク	有線LAN情報		
メモリー	ネットワーク設定		
初期・全体設定	ネットワーク初期化		
	メモリー		
	画質		
	レンズポジション		
	メモリー初期化		
	初期・全体設定		
	全初期化		
	ファームウェア更新		

設定	選択肢	説明
有線LAN情報	有線LAN情報	有線LANのステータス、詳細情報を表 示します。
ネットワーク設定	_	ネットワーク設定を構成します。詳 しくは、[ネットワーク設定]メ ニューをご覧ください。
ネットワーク初期 化	_	[ネットワーク]メニューで調整し たすべての値を初期値に戻します。

▶ 関連項目

・「ネットワーク設定メニュー」 p.93

ネットワーク設定メニュー

[ネットワーク設定]メニューでは、ネットワークの基本設定ができ ます。

設定	選択肢	説明
プロジェクター名	16文字以内の半角 英数字 (" * + , / : ; < = > ? [\] ` スペー スは使用不可)	ネットワーク上で本機を識別するた めの名前を入力します。
有線LAN	_	[有線LAN]メニューを参照。
プロジェクター制 御	_	[プロジェクター制御]メニューを 参照。

▶ 関連項目

- ・「ネットワーク設定 有線LANメニュー」 p.93
- ・「ネットワーク設定 プロジェクター制御メニュー」 p.94

ネットワーク設定 - 有線LANメニュー

[有線LAN] メニューでは、有線LANの設定ができます。

設定	選択肢	説明
IP設定	DHCP IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアド レス	[DHCP]を使用できるネットワークの場合は、[オン]にします。DHCPを使用できないネットワークの場合は、[オフ]にして、プロジェクターの[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]を入力します。0~255の数字を入力します。0~255の数字を入力します。0~255.255.255.255のアドレスはIPアドレスに使用できません(xは0~255の数値)。255.255.255.255、0.0.0.0~254.255.255.255、0.0.0.0~255.255.255.255のアドレスはサブネットマスクに使用できません。0.0.0、127.x.x、224.0.00~255.255.255.255.255のアドレスはゲートウェイアドレスに使用できません。
IPアドレス表示	オン オフ	ネットワーク情報画面にIPアドレスを 表示するときは[オン]にします。

設定	選択肢	説明
PJLinkパスワード	32文字以内の半角 英数字 (@以外の記号は 使用不可)	PJLink対応アプリケーションを使って 本機を制御するときの認証用パス ワードを設定します。
通知先IPアドレス	IPアドレス	PJLink通知機能が有効なとき、プロ ジェクターのステータスを通知する コンピューターのIPアドレスを入力し ます。0~255の数字を入力します。 127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255 のIPアドレスは使用できません。(x は0~255の数値)
AMX Device Discovery	オン オフ	[オン]に設定すると、AMX Device Discoveryを使用して本機の検出がで きます。
Control4 SDDP	オン オフ	[オン]にすると、Control4 SDDP(Simple Device Discovery Protocol)を使って本機の情報を送信 します。

ネットワーク設定 - プロジェクター制御メニュー

[プロジェクター制御] メニューでは、本機をネットワーク経由で設定・制御をするための設定ができます。

設定	選択肢	説明
PJLink	オン オフ	PJLink通知機能を使うときは、[オ ン]に設定します。

[メモリー] メニューでは、プロジェクターの設定を保存できます。

よく使う項目	ユニフォーミティー		
映像調整	ログ保存先	USBおよび内部メモリー	
信号入出力	一括設定範囲		
設置	言語 🌐	日本語	
表示	情報表示		
動作	ステータス表示		
9901TF	管理初期化		
管理	ネットワーク		
ネットワーク	有線LAN情報		
メモリー	ネットワーク設定		
初期・全体設定	ネットワーク初期化		
	メモリー		
	画質		
	レンズポジション		
	メモリー初期化		
	初期・全体設定		
	全初期化		
	ファームウェア更新		

設定	選択肢	説明
	メモリー呼出	メモリーに保存された調整値を呼び 出します。
	メモリー名称変更	保存したメモリーの名称を変更しま す。
	メモリー削除	保存したメモリーを削除します。
	初期化	メモリーを初期化します。
メモリー初期化		[メモリー]メニューで調整したす べての値を初期値に戻します。

▶ 関連項目

・「プロジェクターの設定をメモリーに保存する」 p.69

設定	選択肢	説明
画質	メモリー保存	現在の映像の設定をメモリーに保存 します。
	メモリー呼出	メモリーに保存された調整値を投写 中の映像に適用します。
	メモリー名称変更	保存したメモリーの名称を変更しま す。
	メモリー削除	保存したメモリーを削除します。
	初期化	メモリーを初期化します。
レンズポジション	メモリー保存	ピント、ズーム、レンズシフトの設 定をメモリーに保存します。

[初期・全体設定]メニューでは、本機の設定を初期化できます。ま た、プロジェクターのファームウェアを更新できます。

よく使う項目	ユニフォーミティー		
映像調整	ログ保存先	USBおよび内部メモリー	
信号入出力	一括設定範囲		
設置	言語 🕀	日本語	
表示	情報表示		
動作	ステータス表示		
1001 P	管理初期化		
BH	ネットワーク		
ネットワーク	有線LAN情報		
メモリー	ネットワーク設定		
初期・全体設定	ネットワーク初期化		
	メモリー		
	画質		
	レンズボジション		
	メモリー初期化		
	初期・全体設定		
	全初期化		
	ファームウェア更新		

設定	選択肢	説明
全初期化		すべての設定を初期値に戻します。
ファームウェア更 新		ファームウェア更新モードになり、 USB-AまたはService端子を使って ファームウェアのアップデートがで きます。

全初期化項目

[全初期化]を選択すると、次の画面が表示されます。

✓ 映像調整初期化	✓ ネットワーク初期化
✔ 信号入出力初期化	✓ メモリー初期化
✓ 設置初期化	
✔ 表示初期化	
✔ 動作初期化	
✔ 管理初期化	

特定のメニューを初期化しないときは、メニューのチェックボックス を外します。「実行」を選択すると、初期化します。 以下の設定は、初期値に戻りません。

- [言語]
- ▶ 関連項目
- ・「ファームウェアを更新する」 p.111

メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする(一括設定機能)

本機で設定したメニューの内容を、以下の方法で他の複数台のプロ ジェクターにコピーできます(一括設定機能)。一括設定機能は同じ 型番のプロジェクター間でのみ使用できます。

・USBメモリーを使って設定する

・コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する

- ・投写画面の調整をする前に一括設定機能を実行してください。 一括設定機能では、幾何学歪み補正などの投写画面の調整値も コピーされます。投写画面の調整後に一括設定を行うと、調整 した投写画面が変わってしまうことがあります。
 - ・一括設定機能を実行すると、ユーザーロゴもコピーされます。
 複数のプロジェクター間で共有したくない画像は、ユーザーロゴとして設定しないでください。
 - ・以下の設定をコピーしたくないときは、[一括設定範囲]を [一部]に設定してください。
 - 「信号入出力」メニューの [EDID]
 - ・ [ネットワーク] メニュー
 - ☞ [管理] > [一括設定範囲]

\Lambda 注意

ー括設定は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常など が原因で一括設定に失敗したときは、有償修理となることがあります。

▶ 関連項目

- ・「USBメモリーを使って一括設定する」 p.97
- ・「コンピューターを使って一括設定する」 p.98

USBメモリーを使って一括設定する

USBメモリーを使用して、同じ型番のプロジェクターにメニュー設定 をコピーできます。



- FAT形式でフォーマットされ、セキュリティー機能のついていな いUSBメモリーを使用してください。また、空のUSBメモリーを 使用してください。一括設定ファイル以外のデータが入ってい ると、設定を正しく保存できないことがあります。
- プロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーター が消えていることを確認します。
- 2 空のUSBメモリーを、コピー元のプロジェクターのUSB-A端子に 直接接続します。
- **3** リモコンまたは操作パネルの【Esc】ボタンを押したまま、電源 コードをプロジェクターに接続します。
- インジケーターがすべて点灯したら、【Esc】ボタンを離します。

インジケーターが点滅に変わると、一括設定ファイルがUSBメモリーに書き込まれます。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

⚠ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやUSBメモリーを取り外さないでください。電源コードやUSBメモリーを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

5 USBメモリーを取り外します。



ー括設定ファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。 ファイル名を変更するときは、半角英数字のみを使用して PJCONFDATAの後に文字列を追加します。ファイル名の PJCONFDATAの部分を変更すると、ファイルが正しく認識 できないことがあります。

メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする(一括設定機能)

- **6** コピー先のプロジェクターから電源コードを外し、すべてのイン ジケーターが消えていることを確認します。
- 7 一括設定ファイルが保存されているUSBメモリーを、コピー先の プロジェクターのUSB-A端子に接続します。
- 3 リモコンまたは操作パネルの【Menu】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。

9 インジケーターがすべて点灯したら、【Menu】ボタンを離しま す。

インジケーターが点滅に変わると、一括設定の書き込みが始まり ます。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバ イ状態になります。

▲ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやUSBメモリーを取り外さないでください。電源コードやUSBメモリーを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

10 USBメモリーを取り外します。

コンピューターを使って一括設定する

コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して、同じ型 番のプロジェクターにメニュー設定をコピーできます。

USBケーブルを使用した一括設定機能は、以下のバージョンで使用できます。

- ・Windows 8.1以降
- macOS 10.13.x以降

- プロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーター が消えていることを確認します。
- 2 コンピューターのUSB端子とコピー元のプロジェクターのService 端子を、USBケーブルで接続します。
- 3 リモコンまたは操作パネルの【Esc】ボタンを押したまま、電源 コードをプロジェクターに接続します。
- インジケーターがすべて点灯したら、【Esc】ボタンを離します。
 コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。
- 5 リムーバブルディスクを開き、一括設定ファイルをコンピュー ターにコピーして保存します。

一括設定ファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。 ファイル名を変更するときは、半角英数字のみを使用して PJCONFDATAの後に文字列を追加します。ファイル名の PJCONFDATAの部分を変更すると、ファイルが正しく認識 できないことがあります。

- 6 コンピューター上でUSB機器の取り外し(Windows)、またはリ ムーバブルディスクの取り出し(Mac)をします。
- 7 USBケーブルを取り外します。 プロジェクターがスタンバイ状態になります。
- **8** コピー先のプロジェクターから電源コードを外し、すべてのイン ジケーターが消えていることを確認します。

メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする(一括設定機能)

9 USBケーブルを、コンピューターのUSB端子とコピー先のプロ ジェクターのService端子に接続します。

10 リモコンまたは操作パネルの【Menu】ボタンを押したまま、電 源コードをプロジェクターに接続します。

インジケーターがすべて点灯したら、【Menu】ボタンを離しま 11 す。

コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクと して認識されます。

12 コンピューターに保存した一括設定ファイル (PJCONFDATA.bin)を、リムーバブルディスクの最上位のフォ ルダーにコピーします。

一括設定ファイル以外のファイルやフォルダーをリムーバ \langle ブルディスクにコピーしないでください。

13 コンピューター上でUSB機器の取り外し(Windows)、またはリ ムーバブルディスクの取り出し(Mac)をします。

14 USBケーブルを取り外します。

インジケーターが点滅に変わると、一括設定の書き込みが始まり ます。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバ イ状態になります。

▲ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードを外さな いでください。電源コードを外すと、プロジェクターが正常に起動 しないことがあります。

▶ 関連項目

「一括設定でエラーが発生したときは」 p.99

一括設定でエラーが発生したときは

一括設定でエラーが発生したときは、インジケーターでお知らせしま す。インジケーターの状態をご確認ください。

インジケーターの状態	状態と対処方法
・レーザー:橙 速点滅 ・温度:橙 速点滅	ー括設定ファイルに異常があるか、USBメモリーが 正しく接続されていない可能性があります。 USBメモリーを取り外し、プロジェクターの電源 コードを抜いて差し直してから、もう一度お試し ください。
 電源:青速点滅 ステータス:青速点滅 レーザー:橙速点滅 温度:橙速点滅 	ー括設定ファイルの書き込みに失敗して、プロ ジェクターのファームウェアに異常が生じた可能 性があります。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜 き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に 記載の連絡先にご相談ください。

プロジェクターをメンテナンスする

プロジェクターのメンテナンス方法について説明します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターのメンテナンス」 p.101
- ・「レンズを清掃する」 p.102
- •「本機を清掃する」 p.103
- ・「エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする」 p.104
- ・「液晶パネルの色ずれを補正する(液晶アライメント)」 p.109
- ・「ファームウェアを更新する」 p.111

プロジェクターのレンズは定期的に掃除する必要があります。また、 エアフィルターや吸排気口も掃除して、本機の内部温度が上昇しない ようにしてください。

交換が必要な部品は、エアフィルターとリモコンの電池のみです。他 の部品を交換する必要があるときは、お買い上げの販売店またはお問 い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

▲ 警告

掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてから行っ てください。また、取扱説明書で指示している場合を除き、本機のケース を開けないでください。内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感 電・事故の原因となります。

- プロジェクターのレンズは定期的に掃除し、表面に付着したホコリや 汚れに気付いたときにも掃除してください。
- ・レンズのホコリや汚れは、清潔で乾いた市販のメガネ拭きなどで軽 く拭き取ってください。
- ホコリやゴミが多いときは、ブロアーで取り除いてからレンズを拭いてください。



- ・レンズを掃除するときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてから行ってください。
- ・レンズに付着したゴミ・ホコリの除去にエアダスターなどの可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機の内部は高温になっているため、引火による火災の原因となります。

注意

- ・光源消灯後すぐにレンズを拭かないでください。レンズが傷つく原因 になります。
- レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたい たりしないでください。



レンズを掃除するときは、レンズシャッターを手動で開けてく ださい。お手入れ後はレンズシャッターを閉めてください。 本機の掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜い てください。

- ・本機のホコリや汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくし ぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。本機に液 体を直接スプレーしないでください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでくださ い。本機のケースが変質、変色することがあります。また、エアダス ターも使用しないでください。 エアフィルターは定期的にメンテナンスしてください。プロジェク ターの内部温度が高くなっていることを示すメッセージが表示された ら、エアフィルターを掃除してください。エアフィルターの掃除は 5,000時間を目安に行ってください。ホコリの多い環境でお使いの場合 は、より短い周期で掃除してください。(大気中に含まれる粒子物質 が0.04~0.2 mg/m3の環境下での使用を想定しています。)

注意

定期的にメンテナンスをしないと、プロジェクターの内部温度が高くなっ たときにメッセージが表示されます。内部の温度が上昇すると、故障や光 学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやか にエアフィルターを掃除してください。

▶ 関連項目

- ・「エアフィルターと吸気口を清掃する」 p.104
- ・「エアフィルターを交換する」 p.106

エアフィルターと吸気口を清掃する

以下の場合は、エアフィルターを清掃してください。

- ・エアフィルターや吸気口が汚れたとき
- ・清掃を促すメッセージが表示されたとき



本機の電源を切り、電源コードを抜きます。

2 掃除機、またはブラシで丁寧にホコリを取ります。





固定ネジをゆるめて、エアフィルターカバーを外します。





留め金を開きます。



5 エアフィルターを取り外します。



6 エアフィルターの両端を4~5回軽く叩いて、ホコリを落としま す。







掃除機でエアフィルターに残ったホコリを表側から吸い取りま す。



9 カチッと音がするまで留め金を閉めます。





注意

- エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでく ださい。
- エアダスターは使用しないでください。可燃性の物質が残留したり、精密部分にホコリが入り込むおそれがあります。





エアフィルターを交換する

以下の場合は、エアフィルターを交換してください。

- エアフィルターの清掃後に、清掃または交換を促すメッセージが表示される
- ・エアフィルターが破損している

本機は天吊り設置したままでもエアフィルターの交換ができます。

106

(2



2

本機の電源を切り、電源コードを抜きます。

固定ネジをゆるめて、エアフィルターカバーを外します。







使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って 廃棄してください。 ・フィルターの枠:ポリプロピレン ・フィルター:ポリプロピレン





5 新しいエアフィルターを取り付けます。





6 カチッと音がするまで留め金を閉めます。





7 エアフィルターカバーを閉めて、固定ネジを締めます。


液晶パネルの色ずれを補正する(液晶アライメント)

液晶アライメント機能を使って、液晶パネルの画素の色ずれ(赤・ 青)を補正します。水平・垂直方向に0.125画素ずつ、それぞれ±3画素 の範囲内で調整できます。

- ・調整できる色は赤と青です。緑は基準色パネルのため、調整できません。
 - 液晶アライメントでの調整後は、映像が劣化することがあります。
 - ・画面からはみ出した画素分の映像は表示されません。

2

す。

Menu	ボタンを押し、	[表示]	メニュー	・を選択して、	
Enter	ボタンを押しま	す。			

よく使う項目	表示		
映像調整	無信号時画面	青	-
信号入出力	スタートアップ表示	オン	
設置	メッセージ表示	オン	
表示	メニューカラー	白	
動作	スタンバイ確認	オン	
(05.18)	液晶アライメント	オフ	~
	表示初期化		
ネットワーク	動作		
メモリー	ダイレクトパワーオン	オフ	
初期・全体設定	スリーブモード	オン	^
	スリープモード時間	10 分	
	待機モード	通信オン	
	インジケーター表示	オン	
	トリガーアウト	オフ	
	方向ボタン反転	オフ	
	動作初期化		
	管理		

[液晶アライメント]を選択して、【Enter】ボタンを押しま

3 [液晶アライメント]を選択して、 [オン] に設定します。

よく使う項目	無信号時画面	青	
映像調整	スタートアップ表示	オン	
信号入出力	メッセージ表示	オン	
	メニューカラー	白	
ax m	スタンバイ確認	オン	
表示	液晶アライメント	オン	~
動作	調整色	R	
管理	バターン色	R/G/B	
ネットワーク	調整開始		
メモリー	メモリー		
初期・全体設定	初期化		
	表示初期化		
	動作		
	ダイレクトパワーオン	オフ	
	スリーブモード	オン	~
	スリープモード時間	10分	
	待機モード	通信オン	
	インジケーター表示	オン	
	トリガーアウト	*7	



[調整色]を選択して、以下のいずれかを選択します。

• [R] : 赤を調整します。

- [B] : 青を調整します。
- 5 [パターン色]を選択して、調整時に表示するグリッドの色を選択します。 [調整色] の設定によって選択できる色は異なります。
 - [R/G/B] : グリッドは白で表示されます。
 - [R/G]: グリッドは黄色で表示されます。
 - [G/B] : グリッドはシアンで表示されます。
- 6 [調整開始]を選択して、【Enter】ボタンを押します。

液晶パネルの色ずれを補正する(液晶アライメント)



次のいずれかを選択します。

- 液晶パネル全体の調整をするときは [画面全体をシフトする]
 を選択して、手順8に進みます。
- より詳細な調整をするときは[4隅を調整する]を選択して、
 手順10に進みます。
- 8 リモコンの矢印ボタンを使って [調整色] で選択した色を調整し、 【Enter】ボタンを押します。



調整結果が画面全体のグリッドに反映されます。

- ⑦ 次のいずれかを選択します。
 - より詳細な調整をするときは[4隅を調整する]を選択します。
 - ・ 終了するときは [終了] を選択します。
- 10 リモコンの矢印ボタンを使って、オレンジの四角で表示された コーナーの色を調整し、【Enter】ボタンを押します。
- 11 4隅の調整が終わったら【Enter】ボタンを押します。

7 次のいずれかを選択します。

- さらに調整が必要なときは [交点を選択して調整]を選択します。リモコンの矢印ボタンを使って、調整が必要な交点を選択し、【Enter】ボタンを押します。調整を行い、もう一度 【Enter】ボタンを押します。同様の手順で他の交点を調整します。
- ・ 終了するときは [終了] を選択します。

調整結果を保存するときは、「メモリー」 > 「メモリー保存」
 を選択します。

[初期・全体設定]メニューの[ファームウェア更新]を選択する と、プロジェクターがファームウェア更新モードになります。USB-A、 またはService端子を使用してファームウェアを更新します。

▶ 関連項目

- ・「USBストレージを使ってファームウェアを更新する」 p.111
- 「コンピューターとUSBケーブルを使ってファームウェアを更新する」 p.112

USBストレージを使ってファームウェアを更新する

USBストレージを使って、プロジェクターのファームウェアを更新し ます。



ファームウェアの更新は、お客様の責任において行ってくださ い。停電や通信異常などが原因でファームウェアの更新に失敗 したときは、修理費用が有償となることがあります。

- エプソンのホームページからお使いのプロジェクター用のファー ムウェアファイルをダウンロードします。
- **2** ダウンロードしたファームウェアファイルを、USBストレージの ルート(最上位のフォルダー)にコピーします。

USBストレージはFAT形式でフォーマットしたものを使用してください。

S)

- ・USBストレージ内に、ファームウェアファイル以外の ファイルをコピーしないでください。
- ファームウェアファイルのファイル名は変更しないでく ださい。ファイル名を変更すると、ファームウェアの更 新が開始されません。
- ・ダウンロードしたファームウェアファイルが、お使いの プロジェクター用のファイルであることを確認してくだ さい。ファームウェアファイルが正しくないときは、 ファームウェアの更新は始まりません。



USBストレージは、プロジェクターに直接接続してください。USBハブを介してUSBストレージを接続すると、ファームウェアの更新が正常に行われないことがあります。

4

【Menu】ボタンを押し、[初期・全体設定]を選択して、 【Enter】ボタンを押します。





6

[ファームウェア更新]を選択し、【Enter】ボタンを押しま す。

[はい]を選択して、ファームウェア更新を開始します。

 ファームウェアの更新中は、プロジェクターから電源 コードを外さないでください。電源コードを外すと、プ ロジェクターが正常に起動しないことがあります。

 ファームウェアの更新中は、プロジェクターからUSB ストレージを外さないでください。USBストレージを取 り外すと、ファームウェアの更新が正常に行われないこ とがあります。 プロジェクターのインジケーターがすべて点灯から点滅に変わ り、ファームウェアの更新が始まります。更新が正常に終了する と、プロジェクターがスタンバイ状態になります。 [動作] メ ニューの [ダイレクトパワーオン] が [オン] に設定されている ときは、更新後に自動で電源が入ります。

更新が終わったら、[管理]メニューの[情報表示]を選択し、 [バージョン]が正しく更新されているかを確認します。



すべてのインジケーターが高速で点滅するときは、ファーム ウェアの更新が失敗した可能性があります。プロジェクターか ら電源コードを抜いて、もう一度差し直してください。電源 コードを差し直しても点滅するときは、コンセントから電源プ ラグを抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載 の連絡先にご相談ください。

コンピューターとUSBケーブルを使ってファームウェ アを更新する

コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して、プロ ジェクターのファームウェアを更新します。



 ファームウェアの更新は、お客様の責任において行ってくださ い。停電や通信異常などが原因でファームウェアの更新に失敗 したときは、修理費用が有償となることがあります。

- ファームウェアを更新するには、お使いのコンピューターの OSが以下のいずれかである必要があります。
 - Windows 8.1 (32/64ビット)
 - ・Windows 10 (32/64ビット)
 - macOS 10.13.x (64ビット)
 - macOS 10.14.x (64ビット)
 - ・macOS 10.15.x(64ビット)

エプソンのホームページからお使いのプロジェクター用のファー ムウェアファイルをダウンロードします。

- ファームウェアファイルのファイル名は変更しないでく ださい。ファイル名を変更すると、ファームウェアの更 新が開始されません。
 - ・ダウンロードしたファームウェアファイルが、お使いの プロジェクター用のファイルであることを確認してくだ さい。ファームウェアファイルが正しくないときは、 ファームウェアの更新は始まりません。
- USBケーブルを、コンピューターのUSB端子とコピー先のプロ 2 ジェクターのService端子に接続します。

【Menu】ボタンを押し、 [初期・全体設定]を選択して、 3 【Enter】 ボタンを押します。

よく使う項目	ユニフォーミティー	
映像調整	ログ保存先	USBおよび内部メモリー
信号入出力	一括設定範囲	
設置	言語 🌐	日本語
表示	情報表示	
動作	ステータス表示	
陈田	管理初期化	
	ネットワーク	
***	有線LAN情報	
メモリー	ネットワーク設定	
初期・全体設定	ネットワーク初期化	
	メモリー	
	画質	
	レンズボジション	
	メモリー初期化	
	初期・全体設定	
	全初期化	
	ファームウェア更新	

4 [ファームウェア更新]を選択し、【Enter】ボタンを押しま す。

5

[はい]を選択して、ファームウェア更新を開始します。

ファームウェアの更新中は、プロジェクターから電源コー \langle ドを外さないでください。電源コードを外すと、プロジェ クターが正常に起動しないことがあります。

プロジェクターのインジケーターがすべて点灯し、ファームウェ ア更新モードになります。コンピューター上で、プロジェクター がリムーバブルディスクとして認識されます。

6 コンピューター上で、リムーバブルディスクのルート(最上位の フォルダー)にファームウェアファイルをコピーします。

> ・ファームウェア以外のファイルやフォルダーをリムーバ I) ブルディスクにコピーしないでください。ファイルや フォルダーが失われる可能性があります。

> > ファームウェアファイルがリムーバブルディスクにコ ピーされていない状態でUSBケーブルまたは電源ケーブ ルが抜けたときは、自動的に電源がオフになります。は じめから操作をやり直してください。

7 コンピューター上で、USBデバイスの取り外しを行い、プロジェ クターからUSBケーブルを外します。

プロジェクターのインジケーターがすべて点灯から点滅に変わ り、ファームウェアの更新が始まります。更新が正常に終了する と、プロジェクターがスタンバイ状態になります。「動作」メ ニューの [ダイレクトパワーオン] が [オン] に設定されている ときは、更新後に自動で電源が入ります。

更新が終わったら、「管理」メニューの「情報表示」を選択し、 「バージョン」が正しく更新されているかを確認します。



自動的に電源がオフになります。はじめから操作をやり直して ください。

困ったときに

想定されるトラブルと、その対処方法について説明します。

- ・「トラブルの対処方法」 p.116
- ・「インジケーターの見方」 p.117
- ・「ステータス表示を確認する」 p.119
- ・「電源に関するトラブル」 p.122
- ・「映像に関するトラブル」 p.123
- ・「音声に関するトラブル」 p.127
- ・「リモコン操作に関するトラブル」 p.128
- ・「HDMIリンクに関するトラブル」 p.129

- プロジェクターが正しく動作しないときは、一度電源を切り、電源 コードを差し直してから再度電源を入れます。
- 問題が解決しないときは、以下を確認します。
- ・インジケーターで本機の状態を確認する。
- ・本書のトラブル一覧で対処方法を確認する。

問題が解決しないときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先 に記載の連絡先にご相談ください。

インジケーターの見方

灯しています。

インジケーターは、本機の状態をお知らせします。インジケーターの 色と状態を確認し、以下の表から対処方法を確認してください。

 各インジケーターがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
 ・ [動作] メニューの [インジケーター表示] が [オフ] に設定 されている場合は、正常な投写中にインジケーターがすべて消



- ステータスインジケーター
- レーザーインジケーター
- 🚯 温度インジケーター
- 🕢 電源インジケーター

プロジェクターの状態

インジケーターの状態	状態と対処方法
電源 : 青点灯 ステータス : 青点灯 レーザー : 消灯 温度 : 消灯	投写中の状態です。
電源:青点灯 ステータス:青点滅 レーザー:消灯 温度:消灯	ウォームアップ中、シャットダウン中、またはクー ルダウン中です。 ウォームアップ中の場合は、約30秒たつと映像が表 示されます。 ウォームアップ中、シャットダウン中、またはクー ルダウン中は、すべてのボタン操作が無効になりま す。
電源 : 消灯 ステータス : 消灯 レーザー : 消灯 温度 : 消灯	スタンバイ状態またはスリープモードです。 電源ボタンを押すと、投写を開始します。
電源:青点滅 ステータス:消灯 レーザー:消灯 温度:消灯	ネットワーク監視の準備状態のため、すべての操作 が無効になります。
電源 : 青点灯 ステータス : 消灯 レーザー : 消灯 温度 : 消灯	ネットワーク監視中です。

インジケーターの状態	状態と対処方法
電源:青点滅	内部温度が高くなっています。
ステータス:状態依存 レーザー:状態依存 温度:橙点滅	 エアフィルターや排気口がふさがれていないか、 周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認し ます。 エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除 または交換します。 高温にならない環境で使用するようにします。
電源:消灯 ステータス:青点滅 レーザー:消灯	内部高温異常(オーバーヒート)状態です。自動的 に消灯し、投写できなくなります。電源を切った状 態で5分間待ち、温度を下げます。
温度:橙点灯	もエアライルターや研究ロがふさかれていないか、 周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認し ます。
	 ・高温にならない環境で使用するようにします。 ・エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除 または交換します。
	・標高1,500m以上の場所でお使いのときは、[設 置]メニューの[高地モード]を[オン]にしま す。
	 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源:青点滅	レーザー警告です。
ステータス : 状態依存	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、
レーザー:橙点滅	お買い上けの販売店またはお問い合わせ先に記載の
温度:状態依存	
電源:消灯	レーザー異常です。
ステータス : 青点滅	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、
レーザー:橙点灯 温度:消灯	お貝い上けの販売店またはお問い合わせ先に記載の 連絡先にご相談ください。

インジケーターの状態	状態と対処方法
電源:消灯	ファン異常またはセンサー異常状態です。
ステータス:青点滅	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、
レーザー:消灯	お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の
温度:橙点滅	連絡先にご相談ください。
電源:消灯	内部異常状態です。
ステータス:青点滅	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、
レーザー:橙点滅	お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の
温度:消灯	連絡先にご相談ください。

- ・「動作メニュー」 p.90 ・「設置メニュー」 p.87
- ・「エアフィルターと吸気口を清掃する」 p.104
- ・「エアフィルターを交換する」 p.106

ステータス表示を確認する

本機の状態やエラーをステータス表示で確認できます。

▲機の電源を入れます。

操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。

[管理] メニューを選択して【Enter】ボタンを押します。





2

3

[ステータス表示]を選択して【Enter】ボタンを押します。



左右ボタンを押して、カテゴリーごとの情報を表示します。

▶ 関連項目

・「ステータスに表示されるメッセージ」 p.119

ステータスに表示されるメッセージ

プロジェクターの詳細な情報をカテゴリーごとに確認できます。詳し くは『ステータス表示ガイド』をご覧ください。



ステータスは英語で表示されます。

[System] カテゴリー:本機のシステム状態を表示します。

情報	説明
<1/3>	本機の主要な状態を表示します。
System Status	システムの動作状態を表示します。
Laser Status	光源の点灯状態を表示します。
Last Event	最新の警告またはエラーを表示します。
Intake Air Temp	吸気温度を表示します。
Internal Temp Lv	内部温度レベルを5段階で表示します。
<2/3>	使用時間および光源情報を表示します。
Operation Time	累積使用時間を表示します。
Laser Op. Time	レーザー光源の累積使用時間を表示します。
<3/3>	選択された入力ソースの状態を表示します。
Source	選択された入力ソースを表示します。
Signal Status	信号の判別結果を表示します。
Resolution	解像度を表示します。
Refresh Rate	リフレッシュレートと走査方式を表示します。
ColorSamp./Depth	カラーサンプリングとビット深度を表示します。
Color Space	色空間を表示します。
Dynamic Range	ダイナミックレンジを表示します。

情報	説明
Video Range	ビデオレンジを表示します。
Frame Interp.	フレーム補間機能の状態を表示します。

[Version] カテゴリー:本機の製造番号とファームウェアのバージョンを表示します。

情報	説明
Serial Number	製造番号を表示します。
Main	ファームウェアのメインバージョンを表示します。
Video2	ソフトウェアのバージョンを表示します。
Sub	ソフトウェアのバージョンを表示します。
HDMI	ソフトウェアのバージョンを表示します。
Pixel Shift	ソフトウェアのバージョンを表示します。

[Network Wired] カテゴリー:本機の有線LANの状態を表示します。

情報	説明
Projector Name	ネットワーク上で本機を識別するための固有の名前を 表示します。
Connection Mode	有線LANの接続経路の設定を表示します。
DHCP	DHCPの設定を表示します。
IP Display	IPアドレス表示の設定を表示します。
IP Address	IPアドレスを表示します。
MAC Address	MACアドレスを表示します。

[Input Signal] カテゴリー:本機で選択された入力ソース信号の状態を表示します。

情報	説明
<1/3>	-
Sync Detect(5V)	信号の検出結果を表示します。
Signal Status	信号の判別結果を表示します。
Resolution	解像度を表示します。
Refresh Rate	リフレッシュレートと走査方式を表示します。
ColorSamp./Depth	カラーサンプリングとビット深度を表示します。
Color Space	色空間を表示します。
Dynamic Range	ダイナミックレンジを表示します。
Video Range	ビデオレンジを表示します。
HDCP Status/Ver	HDCPの状態とバージョンを表示します。
Trans. Type	伝送方式を表示します。
Stable Time	信号変化を起点に、現在までの使用時間を表示しま す。
<2/3>	-
Signal Mode	信号モードを表示します。
AVI VIC/Chk.Sum	AVI InfoFrameのVICコードとチェックサムを表示しま す。
CLK-MHz/Frame-Hz	ピクセルクロック周波数とリフレッシュレートの実測 値を表示します。
Total-H/V	有効ピクセル数とブランキングを含めたトータルのピ クセル数・ライン数を表示します。
Sync Polarity	水平・垂直同期信号の極性を表示します。
EDID Mode	EDIDのモードを表示します。
Equalizer Level	イコライザーレベルを表示します。
<3/3>	-

ステータス表示を確認する

情報	説明
Audio Type	HDMI端子からソース機器へ送信する音声信号の種類 を表示します。
Audio Freq/Depth	HDMI端子からソース機器へ送信する音声信号の周波 数・ビット深度を表示します。
GCP A/V Mute	GCPパケットのA/Vミュートの状態を表示します。
DDC Status	ソース機器とのDDC通信の状態を表示します。

▶ 関連項目

・「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 p.8

電源に関するトラブルの対処方法を確認してください。

- ▶ 関連項目
- ・「電源が入らない」 p.122
- ・「予期せず電源が切れる」 p.122

電源が入らない

電源ボタンを押しても本機の電源が入らないときは、次の対処方法を 確認してください。

- 電源コードが本機とコンセントに確実に接続されていることを確認します。
- 2 リモコンの電池を確認します。
- 本機のボタンはセキュリティー上の目的でロックされていることがあります。[管理]メニューで[操作ボタンロック]、または [チャイルドロック]を解除するか、リモコンを使用して本機の 電源を入れます。
- ④ 電源コードが故障している可能性があります。電源コードを抜いて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

▶ 関連項目

・「管理メニュー」 p.91

予期せず電源が切れる

本機の光源が予期せずに消えるときは、次の対処方法を確認してください。

- 一定時間操作が行われなかったため、スリープモードになっている可能性があります。いずれかのボタンを押して、スリープモードから復帰します。スリープモードを無効にするには、 [動作] メニューの [スリープモード] を [オフ] にします。
- 2 本機の光源が消え、ステータスインジケーターが点滅して温度インジケーターが点灯しているときは、本機の内部高温異常(オーバーヒート)で電源がオフになっています。

▶ 関連項目

・「動作メニュー」 p.90

投写映像に関するトラブルの対処方法を確認してください。

▶ 関連項目

- •「映像が表示されない」 p.123
- •「映像がゆがむ」 p.124
- •「映像がぼやける」 p.124
- 「映像の一部が表示されない」 p.124
- ・「映像にノイズが入る、乱れる」 p.125
- ・「映像の明るさや色合いが違う」 p.125
- ・「映像が上下反転して表示される」 p.126
- •「映像と音声がずれる」 p.126

映像が表示されない

映像が表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- 1 本機の状態を確認します。
 - ・ リモコンの【Blank】ボタンを押して、映像が一時的に消され ていないか確認します。
 - ・ インジケーターの色と状態を確認します。
 - スタンバイ状態、スリープモードから復帰するには、本機の電 源ボタンを押します。また、接続されたコンピューターがス リープ状態でないか、黒一色のスクリーンセーバーが表示され ていないか確認します。

スリープモードを無効にするには、 [動作] メニューの [ス リープモード] を [オフ] にします。

- 2 ケーブルの接続を確認します。
 - 必要なケーブルがすべて接続されていること、本機の電源が 入っていることを確認します。
 - ・ 本機とビデオ機器を直接接続してください。

- ・ HDMIケーブルが長いときは、短いケーブルで接続します。
- ・[信号入出力]メニューで、[入力信号フォーマット]や
 [EDID]を正しく設定します。
- **3** ビデオ機器の状態を確認します。
 - ビデオ機器の電源が入っていることを確認し、再生ボタンを押してコンテンツを再生してみます。
 - ・メディアストリーミング端末から投写するときは、USB給電 ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 - ・ 接続機器がHDMI CEC規格に準拠しているか確認します。詳し くは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
 - ノート型コンピューターから投写するときは、コンピューターの画面出力を切り替えて、プロジェクターに映像を表示します。
- 次の点を確認します。
 - 本機、および接続されたビデオ機器の電源を一度切ってから、
 再度電源を入れます。
 - ・ビデオ機器のCEC電源連動機能を有効にして、電源を入れ直し ます。
 - コンピューターのディスプレイ解像度が本機の対応解像度、周 波数と合っているか確認します。必要に応じて、コンピュー ターのディスプレイ解像度を変更します。(詳しくはお使いの コンピューターの取扱説明書をご覧ください。)
 - ・問題が解決しないときは、 [初期・全体設定] メニューの [全 初期化] で本機のすべての設定を初期化します。
- ▶ 関連項目
- ・「動作メニュー」 p.90
- •「初期・全体設定メニュー」 p.96

映像に関するトラブル

映像がゆがむ

投写画面がゆがむときは、次の対処方法を確認してください。

- 1 投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。
- 2 [設置] メニューの [幾何学歪み補正] を使って、映像のゆがみ を補正します。
 - ・ [タテヨコ台形補正]を使って、映像のゆがみを補正します。
 - [設置] > [幾何学歪み補正] > [タテヨコ台形補正]
 - 「Quick Corner」を使って、コーナーの形状を個別に補正します。
 - [設置] > [幾何学歪み補正] > [Quick Corner]
 - [ポイント補正]を使って、部分的に発生するわずかなゆがみ を補正します。
 - [設置] > [幾何学歪み補正] > [ポイント補正]

・「設置メニュー」 p.87

映像がぼやける

投写映像がぼやけるときは、次の対処方法を確認してください。

- 操作パネルまたはリモコンの【Lens】ボタンを押してピントを調整します。
 - 投写距離の推奨範囲内に設置します。

B 本機のレンズを掃除します。



- 寒い場所から暖かい場所に持ち込んだときは、レンズの表 面が結露して映像がぼやけることがあります。お使いにな る1時間くらい前に本機を設置するようにします。
- ④ [映像調整]メニューで[シャープネス]を調整して、投写映像の画質を上げます。
- 5 コンピューターから映像を投写しているときは、解像度を下げるか、本機の解像度に合わせて解像度を変更します。

▶ 関連項目

- ・「映像調整メニュー」 p.81
- ・「映像のピントを調整する」 p.49

映像の一部が表示されない

映像が部分的にしか表示されないときは、次の対処方法を確認してく ださい。



操作パネルまたはリモコンの【Lens】ボタンを押して、映像のサ イズを調整します。



- 正しい設置モードを選択していることを確認します。 [設置] メ ニューの [設置モード] で選択できます。
- 4 コンピューターから投写している場合は、コンピューターのディ スプレイ設定でデュアルディスプレイが無効になっているか、本

[▶] 関連項目

機の対応解像度に合った設定がされているか確認します。(詳し くはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。)

▶ 関連項目

- ・「映像のアスペクト比を切り替える」 p.51
- ・「設置メニュー」 p.87
- 「映像の大きさを調整する」 p.48

映像にノイズが入る、乱れる

投写映像に電子的な干渉(ノイズ)や妨害が入るときは、次の対処方 法を確認してください。

本機とビデオ機器を接続しているケーブルの状態を確認します。 ケーブルが以下の状態であることを確認してください。

- ・
 干渉を受けないように、
 電源コードから離れている
- ・ ケーブルの両端が確実に接続されている
- 延長ケーブルを使用していない

2 [映像調整] メニューの [ノイズリダクション]、 [MPEGノイ ズリダクション]、 [プログレッシブ変換] を設定します。

● [映像調整] > [イメージ強調] > [ノイズリダクション]

● [映像調整] > [イメージ強調] > [MPEGノイズリダク ション]

● [映像調整] > [イメージ強調] > [プログレッシブ変換]

映像のゆがみを補正したときは、 [映像調整] メニューで [シャープネス] を低い値に設定し、投写映像の画質を向上させ ます。

- ④ [信号入出力] メニューで [入力信号フォーマット] や [EDID] を正しく設定します。
- 5 [信号入出力] メニューの [HDMI IN EQレベル] を変更します。
- 延長ケーブルを使用して電源に接続しているときは、延長ケーブ ルを使わずに投写して、映像にノイズが入らないか確認します。
- コンピューターから投写しているときは、コンピューターのディ スプレイ解像度やリフレッシュレートが、本機の対応解像度やリ フレッシュレートと合っているか確認します。
- 8 eARC/ARC非対応のAVアンプをHDMI2 (eARC/ARC)端子に接続する と、映像が乱れることがあります。
- ▶ 関連項目
- ・「映像調整メニュー」 p.81
- ・「信号入出力メニュー」 p.84

映像の明るさや色合いが違う

投写映像が暗すぎたり明るすぎるとき、また色合いが正しく表示され ないときは、次の対処方法を確認してください。

- 1 リモコンの【Color Mode】ボタンを押して、映像と投写環境に合うカラーモードを選択します。
- 2 お使いのビデオ機器の設定を確認します。
- 3 [映像調整] メニューで [明るさ] 、 [コントラスト] 、 [色合い] 、 [色の濃さ] 、 [RGBCMY] などを設定します。

映像に関するトラブル

- 4 [信号入出力] メニューで [ダイナミックレンジ] を正しく設定します。
- 5 [信号入出力] メニューで [入力信号フォーマット] や [EDID] を正しく設定します。
- 6 必要なケーブルが本機とビデオ機器に確実に接続されていること を確認します。ケーブルが長いときは、短いケーブルで接続しま す。
- 7

投写距離の推奨範囲内に設置します。

- ▶ 関連項目
- ・「映像調整メニュー」 p.81
- ・「信号入出力メニュー」 p.84

映像が上下反転して表示される

正しい設置モードを選択します。

- [設置] > [設置モード]
- ▶ 関連項目
- ・「設置メニュー」 p.87

映像と音声がずれる

投写映像と音声がずれるときは、次の対処方法を確認してください。

[信号入出力] メニューの [映像処理] が [きれい] のときは、
 [映像調整] メニューの [フレーム補間] を [オフ] に設定します。

- 2 [信号入出力] メニューの [映像処理] を [速い] に設定します。

音声に関するトラブル

音が出ない、小さすぎるなどの問題があるときは、次の対処方法を確 認してください。



- 本機とビデオ/オーディオ機器のケーブルが正しく接続されてい るか確認します。
- 2 ビデオ/オーディオ機器の音量が大きくなっているか、音声出力 が正しく設定されているか確認します。



- 3 eARC/ARC対応のAVアンプやスピーカーをお使いのときは、以下 をご確認ください。
 - ・ 本機のeARC/ARC対応端子に接続されているか確認します。 eARC/ARCの対応音声形式について詳しくは、『Supplemental A/V Support Specification』をご覧ください。
 - ・ お使いのケーブルがHDMI CEC規格に準拠しているか確認しま す。
 - お使いの機器がHDMI CEC規格に準拠しているか確認します。 詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

リモコン操作に関するトラブル

本機がリモコン操作に反応しないときは、次の対処方法を確認してください。



リモコンを紛失したときは、新たにリモコンをお買い求めいた だけます。



- リモコンの電池が正しくセットされていること、電池が切れてい ないことを確認します。必要に応じて、電池を交換します。
- 2 リモコンのボタンが押し込まれた状態になっていないか確認します。その状態ではリモコンが操作できないことがあります。ボタンを元の状態に戻してください。
- 3 リモコン信号が届く距離、角度からリモコンを操作します。
- 4. インジケーターの色と状態を確認します。
- 5 蛍光灯の強い光、直射日光、赤外線機器の信号が、本機のリモコン受光部に干渉することがあります。照明の明るさを落とす、または直射日光や赤外線干渉を避けられる場所に本機を移動してください。

- ・「リモコンを操作する」 p.32
- ・「インジケーターの見方」 p.117
- ・「リモコンに電池を取り付ける」 p.31

HDMIリンクに関するトラブル

HDMIリンクで接続機器を操作できないときは、次の対処方法を確認してください。



お使いのケーブルがHDMI CEC規格に準拠しているか確認します。



 接続機器が [接続機器一覧] に表示されているか確認します。
 HDMI CEC規格に準拠していない機器は [接続機器一覧] に表示
 されません。HDMI CEC規格に準拠した機器をお使いください。

● [信号入出力] > [HDMIリンク] > [接続機器一覧]

HDMIリンクを使うために必要なケーブルがすべて接続されていることを確認します。



接続機器の電源がスタンバイ状態になっているか確認します。詳 しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

6 新しく機器を接続したり、接続を変更した後に操作できないとき は、接続機器のCEC機能を設定し直して、再起動します。

- ・「信号入出力メニュー」 p.84
- ・「HDMIリンク機能を使って接続機器を操作する」 p.66



お使いの製品の仕様や使用上の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

- ・「オプション・消耗品一覧」 p.131
- ・「スクリーンサイズと投写距離」 p.132
- ・「対応解像度」 p.134
- ・「本機仕様」 p.135
- ・「外形寸法図」 p.137
- ・「安全規格対応シンボルマークと説明」 p.138
- ・「レーザー製品を安全にお使いいただくために」 p.140
- ・「用語解説」 p.142
- ・「一般のご注意」 p.143

オプション・消耗品一覧

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い 求めください。

これらのオプション品は2021年7月現在のものです。

予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

- ▶ 関連項目
- ・「設置用金具」 p.131
- ・「外付けオプション」 p.131
- ・「消耗品」 p.131

設置用金具

天吊金具 ELPMB22

薄型天吊金具 ELPMB30

天井に取り付けるときに使います。

セーフティーワイヤーセット ELPWR01 落下防止のため、本機と天吊り金具をつなぐときに使います。

パイプ**450(450mm) ELPFP13**

パイプ700(700mm) ELPFP14

高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。



天吊り設置には特別な技術が必要です。詳細はお買い上げの販 売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

外付けオプション

Android TV[™] 端末 ELPAP12

メディアストリーミング端末です。オンラインコンテンツを視聴す るときに使います。

消耗品

エアフィルター ELPAF62 使用済みエアフィルターと交換します。

スクリーンサイズと投写距離

この表に従って、スクリーンからプロジェクターまでの距離を、投写 映像の大きさに応じて決めます。





- 投写距離(cm)
- 2 レンズ中心からスクリーン下端までの高さ(上下レンズシフトの設定に より変わります)(cm)
- レンズの中心

16:9スクリーンサイズ		0	2
		最短(ワイド)〜最 長(テレ)	上下レンズシフト 最下〜最上
50型	111 × 62	148 - 313	-91 - 29

16:9スクリーンサイズ		0	2
		最短(ワイド)〜最 長(テレ)	上下レンズシフト 最下〜最上
60型	133 × 75	178 - 376	-109 - 35
80型	177 × 100	239 - 503	-146 - 46
100型	221 × 125	300 - 630	-182 - 58
150型	332 × 187	452 - 947	-273 - 86
200型	443 × 249	604 - 1264	-364 - 115
250型	553 × 311	756 - 1582	-455 - 144
300型	664 × 374	908 - 1899	-547 - 173

4:3スクリーンサイズ		0	2
		最短(ワイド)〜最 長(テレ)	上下レンズシフト 最下〜最上
50型	102 × 76	182 - 384	-111 - 35
60型	122 × 91	219 - 462	-134 - 42
80型	163 × 122	293 - 617	-178 - 56
100型	203 × 152	368 - 772	-223 - 71
120型	244 × 183	442 - 927	-268 - 85
150型	305 × 229	554 - 1160	-334 - 106
200型	406 × 305	740 - 1548	-446 - 141
220型	447 × 335	814 - 1704	-491 - 155
244.8型	497 × 373	906 - 1896	-546 - 173

スクリーンサイズと投写距離

16:10スクリーンサイズ		0	2
		最短(ワイド)〜最 長(テレ)	上下レンズシフト 最下〜最上
50型	108 × 67	160 - 339	-98 - 31
60型	129 × 81	193 - 407	-118 - 37
80型	172 × 108	259 - 544	-158 - 50
100型	215 × 135	324 - 682	-197 - 62
120型	258 × 162	390 - 819	-236 - 75
150型	323 × 202	489 - 1024	-295 - 93
200型	431 × 269	653 - 1367	-394 - 125
250型	538 × 337	817 - 1710	-492 - 156
277.2型	597 × 373	907 - 1897	-546 - 173

対応解像度

映像信号ごとのリフレッシュレートと解像度についての詳細は 『Supplemental A/V Support Specification』をご覧ください。

▶ 関連項目

・「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 p.8

商品名	EH-LS12000B
外形サイズ	幅520×高さ169×奥行き447 mm(突起部を含ま ず)
液晶パネルサイズ	0.74型
表示方式	ポリシリコンTFTアクティブマトリクス
解像度	2,073,600 ピクセル
	Full HD(横1,920×縦1,080ドット)×3
フォーカス調整	電動
ズーム調整	1.0~2.1(光学ズーム)
レンズシフト	電動
	上下方向最大約±96.3%
	左右方向最大約±47.1%
光源	レーザーダイオード
光源出力	最大80 W
波長	449~461 nm
レーザークラス	クラス4
光源使用時間*	最大約20,000時間
スピーカー	なし
電源	100-240V AC±10% 50/60Hz 3.2 - 1.5 A
定格消費電力(100- 120Vエリア)	311 W
定格消費電力(220- 240Vエリア)	302 W
待機時消費電力	通信オン:2.0 W
	通信オフ:0.4 W
動作高度	標高 0~3,048 m

動作温度範囲 **	標高0~2,286 m:+5~+35℃(湿度20~80%、結露 しないこと)	
	標高2,287~3,048 m:+5~+30℃(湿度20~80%、 結露しないこと)	
保存温度範囲	-10~+60℃(湿度10~90%、結露しないこと)	
質量	約12.7 kg	

* 光源の明るさが半減するまでの目安時間です。(大気中に含まれる 粒子物質が0.04~0.2mg/m3の環境下での使用を想定しています。使用 条件や使用環境によって目安時間は変動します。)

** 使用する環境の温度が高くなったときは、光源の明るさを自動的に 落とします。(標高0~2,286mでは約35℃、標高2,287~3,048mでは約 30℃を目安としますが、使用環境等によって異なります。)

傾斜角度

下図で示す角度以上に傾けてお使いになると、故障や事故の原因とな ることがあります。



▶ 関連項目
 ・「接続端子」 p.136

接続端子

USB-A端子	1系統	USBコネクター(Aタイプ)
Service端子	1系統	USBコネクター(Mini-B)
Trigger Out端子	1系統	ステレオミニピンジャック
LAN端子	1系統	RJ-45
Opt.HDMI (300mA)端子	1系統	光HDMIケーブル用給電端子
HDMI1端子	1系統	HDMI
HDMI2 (eARC/ARC)端子	1系統	HDMI
RS-232C端子	1系統	ミニD-Sub 9pin(オス)



USB-A端子とService端子はUSB 2.0に対応しています。ただし、 USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

外形寸法図



● レンズの中心(レンズが中心位置にあるとき)

❷ レンズの中心から天吊り固定部までの寸法



単位: mm

製品上にシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意 味を持っています。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
0		IEC60417 No. 5007	電源ON 電源への接続を示す。
2	0	IEC60417 No. 5008	電源OFF 電源からの切り離しを示す。
3	Ċ	IEC60417 No. 5009	スタンバイ 機器・装置の一部だけを通電状態 にし、機器・装置を待機状態にす るためのスイッチまたはその位置 を示す。
4	\triangle	ISO7000 No. 0434B, IEC3864-B3.1	注意 製品取扱時の全般的な注意を示 す。
6		IEC60417 No. 5041	注意(高温) 高温の可能性があり、不注意に触 れない方がよい箇所であることを 示す。
6		IEC60417 No. 6042 ISO3864-B3.6	注意(感電危険) 感電(電撃)の危険性がある機 器・装置であることを示す。
	\sum	IEC60417 No. 5957	屋内専用 屋内使用専用を目的とする電気機 器・装置であることを表す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
8	◈●�	IEC60417 No. 5926	直流電源コネクタ極性 直流電源を接続してもよい機器の プラスおよびマイナス電極の接続 を示す。
9	$\bigcirc \textcircled{\bullet} \textcircled{\bullet} \textcircled{\bullet}$	_	No. 8と同じ
0		IEC60417 No. 5001B	電池(一般) 電池を電源とする機器・装置に使 用する。電池装着部分のカバーま たは接続端子を示す。
0	(+	IEC60417 No. 5002	電池の向き 電池ケース本体および電池ケース 内での向きを示す。
(2)	(+ –	_	No. 11と同じ
3		IEC60417 No. 5019	保護接地 障害発生時の電撃(感電)保護用 外部導体への接続端子または保護 接地極の端子であることを示す。
12	<u> </u>	IEC60417 No. 5017	アース No. 13の使用が明示的に要請されな い場合の接地(アース)端子であ ることを示す。
(5)	\langle	IEC60417 No. 5032	交流 交流専用の機器・装置であり、交 流に対応する端子であることを示 す。

安全規格対応シンボルマークと説明

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
6		IEC60417 No. 5031	直流 直流専用の機器・装置であり、直 流に対応する端子であることを示 す。
		IEC60417 No. 5172	クラス 機器 JIS C 9335-1/JIS C 8105-1でクラス 機器と規定した安全性要求事項に 適合する機器・装置であることを 示す。
18	\oslash	ISO 3864	一般的な禁止 特定しない一般的な禁止通告を示 す。
0		ISO 3864	接触禁止 機器の特定の場所に触れることに よって傷害が起こる可能性がある 場合の禁止通告を示す。
20	∢- ¥→⋛ Ӷ	_	プロジェクター動作中の投写レン ズ覗きこみ禁止を示す。
2	₽≣×	_	プロジェクターの上に物を置いて はならないことを示す。
		ISO3864 IEC60825-1	注意(レーザー放射) 製品上に注意が必要なレベルの レーザー放射部があることを示 す。
		ISO 3864	分解禁止 機器を分解することで感電などの 傷害が起こる可能性がある場合の 禁止通告を示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
24	Ü	IEC60417 No. 5266	待機、一部待機 機器・装置の一部が準備状態であ ることを示す。
Ø		ISO3864 IEC60417 No. 5057	注意(可動部品) 保護規定上、可動部品から離れな ければならないことを示す。
26		IEC60417 No. 6056	注意(可動ファンのブレード) 保護規定上、可動部品から離れな ければならないことを示す。
2)	A.	IEC60417 No. 6043	注意(鋭利な角) 保護規定上、鋭利な角には触れて はいけないことを指示する。
28		—	プロジェクター動作中の投写レン ズ覗きこみ禁止。
29		ISO7010 No. W027 ISO 3864	警告、光放射(UV、可視光、IR など) 光放射の近くにいるときは、目や 肌に負傷を与えないように注意し てください。
30	\mathbf{X}	IEC60417 No. 5109	居住区域使用禁止 居住区域での使用に適さない電気 機器・装置であることを示す。

レーザー製品を安全にお使いいただくために

本機はJISC 6802:2014に適合したクラス1レーザー製品です。

内部

以下の注意事項を必ず守ってご使用ください。

⚠ 警告

- 本機のケースを開けないでください。内部に高出力レーザー製品が組み 込まれています。
- 本機の光源を直接見ないでください。強い光が視力障害などの原因となります。
- ・投写中は、光源から放射されるレーザービームをのぞかないでください。(RG2 IEC/EN 62471-5:2015に準拠)

\Lambda 注意

本機を廃棄する場合は分解しないでください。国や地域の廃棄ルールに 従って廃棄してください。



- ・使用環境によって、光源の輝度が低下します。温度が高くなる ほど、輝度の低下が大きくなります。
- ・使用時間の経過にともない、光源の輝度が低下します。使用時 間と輝度低下の関係は明るさ設定で変更できます。

▶ 関連項目

・「レーザー警告ラベル」 p.140

レーザー警告ラベル

本機には以下のレーザー警告ラベルが貼られています。

🕂 DANGER
DANGER: CLASS 4 LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EYE OR SKIN EXPOSURE TO DIRECT OR SCATTERED RADIATION
DANGER : EN CAS D'OUVERTURE RAYONNEMENT LASER DE CLASSE 4. ÉVITER L'EXPOSITION DES YEUX OU DE LA PEAU AUX RAYONNEMENTS
DIRECTS OU DIFFUÉS. PELIGRO: RADIACIÓN LÁSER DE CLASE 4 CUANDO ESTÁ ABIERTO. EVITAR LA EXPOSICIÓN DE OJOS O
PIEL A LA RADIACIÓN DIRECTA O DISPERSA. GEFAHR: LASERSTRAHLUNG KLASSE 4 WENN GEÖFFNET. BESTRAHLUNG VON AUGE ODER HAUT
DURCH DIREKTE ODER STREUSTRAHLUNG VERMEIDEN. 危险:打开时有 4 类激光辐射。避免眼或皮肤受到直射或散
射辐射的照射。 危険:打開時具有第4級 (CLASS 4) 雷射。避免眼睛或 皮膚暴露於直射或散射的輻射。
*1名: パラハ 4 등급 데이셔 세舎. 직접 혹은 문사 망사에 대한 눈 또는 피부 노출을 피하시오. 危険: ここを開くとクラス 4 のレーザ放射が出る。 ビートや散気光の日又は皮膚への被ばくを避けること。
危険:ここを開くとクラス4のレーザ放射が出る。 ビームや散乱光の目又は皮膚への被ばくを避けること。

上面

投写中は、光源から放射されるレーザービームをのぞかないでください。 (RG2 IEC/EN 62471-5:2015に準拠)



- ・投写中は本機のレンズをのぞき込まないでください。目に損傷を与えるおそれがあります。特にお子様やペットの行動にご注意ください。
- ・本機から離れた場所でリモコンを使って電源を入れるときは、レン ズをのぞいている人がいないことを確認してください。
- ・小さなお子様には操作させないでください。操作する可能性がある 場合は、必ず保護者が同伴してください。
- ・投写中はレンズをのぞきこまないでください。また、ルーペや望遠 鏡などの光学機器を用いてレンズをのぞかないでください。視覚障 害の原因になることがあります。

本書で使用している用語で、本文中に説明がないものや難しいものを 簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。 横 : 縦の比率が16:9の、HDTVなどの画面をワイド画面と いいます。 SDTVや、一般的なコンピューターのディスプレイのアス ペクト比は4:3です。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、 文字や絵がはっきり見えたり、ソフトに見えたりするこ とです。この調整をコントラストの調整といいます。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワーク に接続する機器に、IPアドレスを自動的に割り当てるプロ トコルのことです。
Full HD	画面サイズの規格で、横1,920ドット×縦1,080ドットのも のを呼びます。
ゲートウェイア ドレス	サブネットマスクによって分割したネットワーク(サブ ネット)を超えて通信するためのサーバー(ルーター) のことです。
HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略です。 DVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号 化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。 本機のHDMI端子はHDCPに対応しているため、HDCP技術 で保護されたデジタル映像を投写できます。 ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の 規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合 があります。
HDMI [™]	High Definition Multimedia Interfaceの略で、デジタル家電 やコンピューター向けの規格です。HD映像とマルチチャ ンネルオーディオ信号をデジタル伝送できます。 デジタル信号を圧縮せず高品質のまま転送できます。デ ジタル信号の暗号化機能もあります。

HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精 細なシステムに適用されます。
	・垂直解像度720p、1080i以上(pはプログレッシブ走査、 iはインターレース走査)
	・画面のアスペクト比は16:9
インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へ1つ飛ばしに伝送 します。
	1フレームの表示が1ラインおきとなるため、ちらつき (フリッカー)が出やすくなります。
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピューターを識別するための数字のことです。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を一度で映し出して1フレーム 分の映像を表示します。
	そのため走査線の本数が同じでもインターレースと比べ て時間あたりの情報量が2倍になるためちらつきが少ない 映像になります。
リフレッシュ レート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間 保持します。
	そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も 画像を走査しなければなりません。
	その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で 表します。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満た さない標準テレビ放送のことです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピューターのオペレー ティングシステム(OS)やインターネットで簡単に扱う ために規定された、色空間に関する国際標準です。接続 している機器にsRGBモードがある場合、本機と接続機器 の両方ともsRGBに設定します。
サブネットマス ク	

一般のご注意

本機をお使いの際の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

▶ 関連項目

- ・「使用限定について」 p.143
- ・「本機を日本国外へ持ち出す場合の注意」 p.143
- ・「瞬低(瞬時電圧低下)基準について」 p.143
- •「JIS C 61000-3-2適合品」 p.143
- ・「表記について」 p.143
- ・「商標について」 p.144
- ・「ご注意」 p.144
- ・「著作権について」 p.144

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・ 防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼 性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステ ム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設 計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた 上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航 空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて 高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませ んので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確 認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

日本国内向けの本製品を海外で利用した場合は、保証の対象外となります。国内で販売する本製品は、日本国内使用を意図した安全規格基準のみ対応しているため、日本国以外でのご使用は違法となる場合があります。また、国や地域によっては電波使用制限があるた

- め、ネットワーク機能を海外で使った場合、罰せられることがあり ます。
- ・電源コードは日本国内向けの電源仕様に基づき同梱されています。
 本機を日本国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源
 電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源
 コードを現地にてお求めください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じる ことがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源 装置などを使用されることをお薦めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

表記について

- Microsoft[®] Windows[®] 8.1 operating system
- Microsoft[®] Windows[®] 10 operating system

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞ れ、「Windows 8.1」、「Windows 10」と表記しています。また、これ らを総称する場合は「Windows」と表記します。

- macOS 10.13.x
- macOS 10.14.x
- macOS 10.15.x
- macOS 11.0.x

本書中では、上記各オペレーティングシステムを総称する場合 は「Mac」と表記します。

商標について

「EPSON」はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。「EXCEED YOUR VISION」およびそのロゴはセイコーエプソン株式会社の登録商標 または商標です。

Mac、OS X、macOSは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標、または登録商標です。

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標、または登録商標です。

PJLinkは、日本、米国、その他の国や地域における商標、または登録 商標です。

Intel[®]は、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの登録商標です。

Android TV[™]はGoogle LLC.の商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合で も、これを十分尊重いたします。 (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不 審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいます ようお願いいたします。

(4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負い かねますのでご了承ください。

(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わず に取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い 合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因 して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承く ださい。

(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

(7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2022 Seiko Epson Corporation

2022.02 414171802JA

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。

(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。